

Doc. 2565 Evid.

Folder 3

(95)

滿洲事變史第八卷

滿洲ニ於ケル支那軍掃蕩戰(上)附表



附表第一

昭和十九年九月十八、十九日 奉天附近ノ戰鬪ニ於ケル第二師團及獨立守備隊鹵獲表

考 備	總 計	隊 備 守 立 獨			團 師 二 第			團		種 類
		小 計	六 獨 大 立 隊 守 備 步 兵 第	五 獨 大 立 隊 守 備 步 兵 第	二 獨 大 立 隊 守 備 步 兵 第	小 計	步 兵 第 十 六 聯 隊	隊 步 兵 第 二 十 九 聯	號	
本表ノ外兵工廠内ノ鹵獲品及各種彈藥等アルモ莫大ニシテ精確ナル數量判明セサル爲之ヲ省略ス	約 825	約 450	約 50		400	約 375	55	約 320	校 將	俘 虜
	225	222		142	80	3		3	兵、官士下、官士准	馬
	801	19		19		782		782	銃 小	戰 利 品
	400					400		400	銃 拳	
	47	21		12	9	26		26	銃 關 機	
	3	3			3				砲 兵 步	
	201	167			167	34		34	砲 擊 迫	
	12	12		12					砲 野	
	4	4			4				砲 騎	
	2	2			2				砲 山	
	6	6		6					砲 彈 榴 榴 五 十	
	60					60	60		機 行 飛	
	25	13			13	12	12		車 戰	
	18	13		3	10	5	5		車 動 自 用 乘	
	101	56		4	52	45	5	40	車 貨 動 自	
	2	2			2				車 動 自 甲 裝	
	46	46			46				車 輪 二 動 自 附 車 側	
15	15			15				車 轉 自		

附表第二

昭和六年九月十八、十九日

奉天附近ノ戰鬪ニ於ケル第二師團及獨立守備隊武器彈藥損耗表

考 備	總 計	隊 備 守 立 獨		團 師 二 第			團 隊		種 類	消 費	損 失	
		小 計	五 獨 大 立 隊 守 備 步 兵 第	二 獨 大 立 隊 守 備 步 兵 第	小 計	第 一 野 砲 兵 第 二 聯 隊	步 兵 第 十 六 聯 隊	隊 步 兵 第 二 十 九 聯				號 區 分
一 器具ノ内容ハ不明ナリ 二 損失武器ハ破損セルモノヲ示ス	30,080	28,633	633	28,000	1,447	124	1,323	銃 小	彈 藥 費	消 費	損 失	
	8,122	7,524	481	7,043	598	120	478	銃 關 機 輕				
	4,687	4,655	150	4,505	32		32	銃 關 機				
	16	16		16				砲 擊 狙				
	17				17		17	砲 兵 步 射 平				
	2				2		2	砲 兵 步 射 曲				
	509	445		445	64		64	彈 榴 手				
	876	777		777	99	2	97	銃 拳				
	7				7	7		(彈 霰 榴) 砲 野				
	9	7		7	2	1	1	銃 小				武 器 其 他 ノ 武 器
	18	18		18				劍 銃				
	9	9		9				具 器				
54	54		54				盒 藥 彈					

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers, likely a continuation of the data or a related report. The text is mostly illegible due to fading.

附表第四

昭和六年九月十九日 長春附近ノ戰鬪ニ於ケル 步兵第三旅團 獨立守備步兵第一大隊 鹵獲表

計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分	
			號	區				號	區				號	區
3		3	校	將	3		3	校	將	3		3	校	將
449		449	官兵	准士官	449		449	官兵	准士官	449		449	官兵	准士官
45	25	20	匹	馬	45	25	20	匹	馬	45	25	20	匹	馬
797		797	銃	小	797		797	銃	小	797		797	銃	小
20	5	15	銃	關機輕	20	5	15	銃	關機輕	20	5	15	銃	關機輕
10	6	4	砲	擊迫	10	6	4	砲	擊迫	10	6	4	砲	擊迫
36		36	砲	野	36		36	砲	野	36		36	砲	野
2		2	砲	山	2		2	砲	山	2		2	砲	山
4	4		砲	兵步射平	4	4		砲	兵步射平	4	4		砲	兵步射平
8		8	銃	拳	8		8	銃	拳	8		8	銃	拳
974	53	921	劍	刀	974	53	921	劍	刀	974	53	921	劍	刀
7		7	帶	刀	7		7	帶	刀	7		7	帶	刀
255		255	帶	劍	255		255	帶	劍	255		255	帶	劍
434,570	18,100	416,470	彈	銃小	434,570	18,100	416,470	彈	銃小	434,570	18,100	416,470	彈	銃小
9,383	200	9,183	彈	砲擊迫	9,383	200	9,183	彈	砲擊迫	9,383	200	9,183	彈	砲擊迫
960		960	彈	砲野	960		960	彈	砲野	960		960	彈	砲野

計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分	
			號	區				號	區				號	區
486		486	彈	榴手	486		486	彈	榴手	486		486	彈	榴手
85		85	藥	火	85		85	藥	火	85		85	藥	火
16		16	車	前車砲	16		16	車	前車砲	16		16	車	前車砲
8		8	車	藥彈	8		8	車	藥彈	8		8	車	藥彈
2		2	車	品備豫	2		2	車	品備豫	2		2	車	品備豫
53	22	31	斧	手	53	22	31	斧	手	53	22	31	斧	手
11		11	[ブッコス]		11		11	[ブッコス]		11		11	[ブッコス]	
362	354	8	匙	圓	362	354	8	匙	圓	362	354	8	匙	圓
11		11	嘴	鶴	11		11	嘴	鶴	11		11	嘴	鶴
52	40	12	鍬	字十	52	40	12	鍬	字十	52	40	12	鍬	字十
13	13			槌	13	13			槌	13	13			槌
11		11	叭	喇	11		11	叭	喇	11		11	叭	喇
737	695	42		鞍	737	695	42		鞍	737	695	42		鞍
433	426	7	囊	鞍	433	426	7	囊	鞍	433	426	7	囊	鞍
708	354	354	褥	鞍	708	354	354	褥	鞍	708	354	354	褥	鞍
9		9	囊	雜	9		9	囊	雜	9		9	囊	雜

計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分		計	獨立守備步兵第一大隊	步兵第四聯隊	團區分	
			號	區				號	區				號	區
305	300	5	盒	飯	305	300	5	盒	飯	305	300	5	盒	飯
70		70	盒	藥	70		70	盒	藥	70		70	盒	藥
1,002	1,000	2	筒	水	1,002	1,000	2	筒	水	1,002	1,000	2	筒	水
500	500		囊	水	500	500		囊	水	500	500		囊	水
1	1		鏡	隊砲	1	1		鏡	隊砲	1	1		鏡	隊砲
2	2		機	遠測重	2	2		機	遠測重	2	2		機	遠測重
10	10		尺	表備豫	10	10		尺	表備豫	10	10		尺	表備豫
14	14		廻	管信	14	14		廻	管信	14	14		廻	管信
8	8		機	話電	8	8		機	話電	8	8		機	話電
17	17		線	覆被中	17	17		線	覆被中	17	17		線	覆被中
69	69		杭	繫馬	69	69		杭	繫馬	69	69		杭	繫馬
56	56		當	胸	56	56		當	胸	56	56		當	胸
19	19		幕	天	19	19		幕	天	19	19		幕	天
10	10		架	擔	10	10		架	擔	10	10		架	擔
30	30		覆物	[ト一シ]	30	30		覆物	[ト一シ]	30	30		覆物	[ト一シ]
1,000	1,000		圖	地	1,000	1,000		圖	地	1,000	1,000		圖	地

備 一 彈藥ハ概數ヲ示ス
 二 步兵第四聯隊ハ本表ノ外器具、圓匙、十字鍬、槍、草搔、熊手等ヲ支那馬車三輛分又被服、陣營具等ヲ支那馬車十輛分鹵獲セルモ其内容不明ナリ
 考 三 戰利野砲中二十七門ハ戰鬪間破壊ス

附表第七

昭和十一年四月、五、六日 大興附近ノ戦鬪ニ於ケル嫩江支隊鹵獲表

考備	員數	區分	種類
		將校	俘虜
實包中露式小銃彈一、〇〇〇ヲ含ム	3	准士官 下士官 兵	馬匹
	5	小銃	戰利品
	14	輕機銃	
	1	拳銃	
	38,170	實包	
	32	砲彈	
	143	手榴彈	
	9	機關銃 彈藥箱	
	5	保彈帶式 彈藥箱	
	146	器具	

附表第七

附表第六

考備	員數	區分	種類
		將校	俘虜
實包中露式小銃彈一、〇〇〇ヲ含ム	3	准士官 下士官 兵	馬匹
	5	小銃	戰利品
	14	輕機銃	
	1	拳銃	
	38,170	實包	
	32	砲彈	
	143	手榴彈	
	9	機關銃 彈藥箱	
	5	保彈帶式 彈藥箱	
	146	器具	

附表第九

昭和六年十一月十八、十九日 昂昂溪、齊齊哈爾附近ノ戦闘ニ於ケル第二師團 配屬部隊ヲ含 死傷表

團 隊 號	區 分	死		傷	
		將 校	兵下准 士士官	將 校	兵下准 士士官
第二師團司令部					
右 步兵第十五旅團司令部					
翼 步兵第三十聯隊(第一中隊欠)		1	27		12
隊 步兵第七十八聯隊		1	10	(2)	31
左 步兵第三旅團司令部					
翼 步兵第四聯隊(第三中隊欠)			4	1	21
隊 步兵第二十九聯隊			9	1	31
豫備隊 步兵第十六聯隊				(1)	166
步兵第四聯隊第三中隊(一小隊欠)				2	12
騎兵第二聯隊			1	1	20
騎兵第二十八聯隊第二中隊				1	15
砲兵第二聯隊			1	3	8
野砲兵第二十六聯隊第三大隊			1	1	5
臨時重砲兵大隊				(3)	16
工兵中隊				(1)	4
自動車班		1			33
計		3 (2)	53	15 (15)	120 990
					35 (9)

一 △ハ凍傷患者、(一)ハ人員ニ在リテハ非戦闘員、馬匹ニ在リテハ支那馬ヲ示ス
 二 戦死(戦傷死ヲ含ム)將校同相當官左ノ如シ
 步兵第三十聯隊
 步兵中尉 井上友治
 二等主計 水口五作
 同 岡村繁勝
 步兵第七十八聯隊
 步兵大尉 衣笠繁一
 自動車班
 輜重兵大尉 川野寛市

三 負傷(凍傷患者ヲ含マス)將校同相當官左ノ如シ
 步兵第七十八聯隊
 步兵中尉 内山日出丸
 步兵少尉 小屋迫要
 步兵第四聯隊
 步兵少尉 菊地忠雄
 步兵第二十九聯隊
 一等軍醫 上田茂
 騎兵第二聯隊
 騎兵中尉 曾根崎清臣
 騎兵第二十八聯隊第二中隊
 騎兵中尉 藤井繁雄
 野砲兵第二聯隊
 砲兵中尉 成川一郎

四 團隊號ノ欄ニ於テ死傷ナキ部隊ハ記載ヲ省略ス

附表第十二

昭和六年十一月昂昂溪、齊齊哈爾附近ノ戰鬪ニ於ケル第二師團武器彈藥損耗表(乙)

考 備	計	臨時野戰重砲兵大隊	野砲兵第二十六聯隊第三大隊	野砲兵第二聯隊	步兵第三十聯隊山砲隊	步兵第二十九聯隊山砲隊	步兵第四聯隊山砲隊	隊 區 分		種 類	
								號	分	種	類
砲車ノ破損ハ敵彈ニ依リテ防楯ニ裂孔ヲ生シタルモノナリ								彈 榴	山 砲	消 費	
	311				60	172	79	彈 霰 榴	用		
	1,922		947	975				彈 榴	野 砲		
	1,367		30	1,337				彈 霰 榴	用		
	13			13				彈 煙 發	用		
	305	305						彈 榴	十五 榴 用	費	
	69	69						彈 霰 榴			
	1			1				車 砲	武 器	損 失	

使用符號ニ就テ


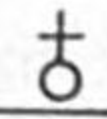


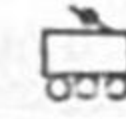
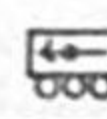

本卷ハ陸軍軍隊符號 大正十三年八月十三日陸達第二十八號 及陸地測量部規定ノ圖式ニ據ルノ外特ニ定メタル左記符號ヲ使用ス

左記

第一通則

- 一 中隊内ノ小隊號ヲ示ス場合ニハ i ii iii 等ノ數字ヲ用フ
- 二 獨立守備步兵大、中隊ハ之ヲ示ス數字ノ右下ニ小サク S ヲ附加ス例ヘハ獨立守備步兵第一大隊ヲ 1s ト示ス如シ

第二各兵種

						
獨立守備隊司令部	下士官ヲ長トスル分遣隊	將校ヲ長トスル分遣隊	乘馬步兵隊	AT	AK	AC
				裝甲列車	裝甲軌道車	裝甲自動車
<u>RSt</u>	<u>ASt</u>	<u>Ki</u>	<u>iK</u>	<u>iH</u>	<u>lg</u>	
聯隊段列	大隊段列		平射步兵砲	曲射步兵砲	輕機關銃	

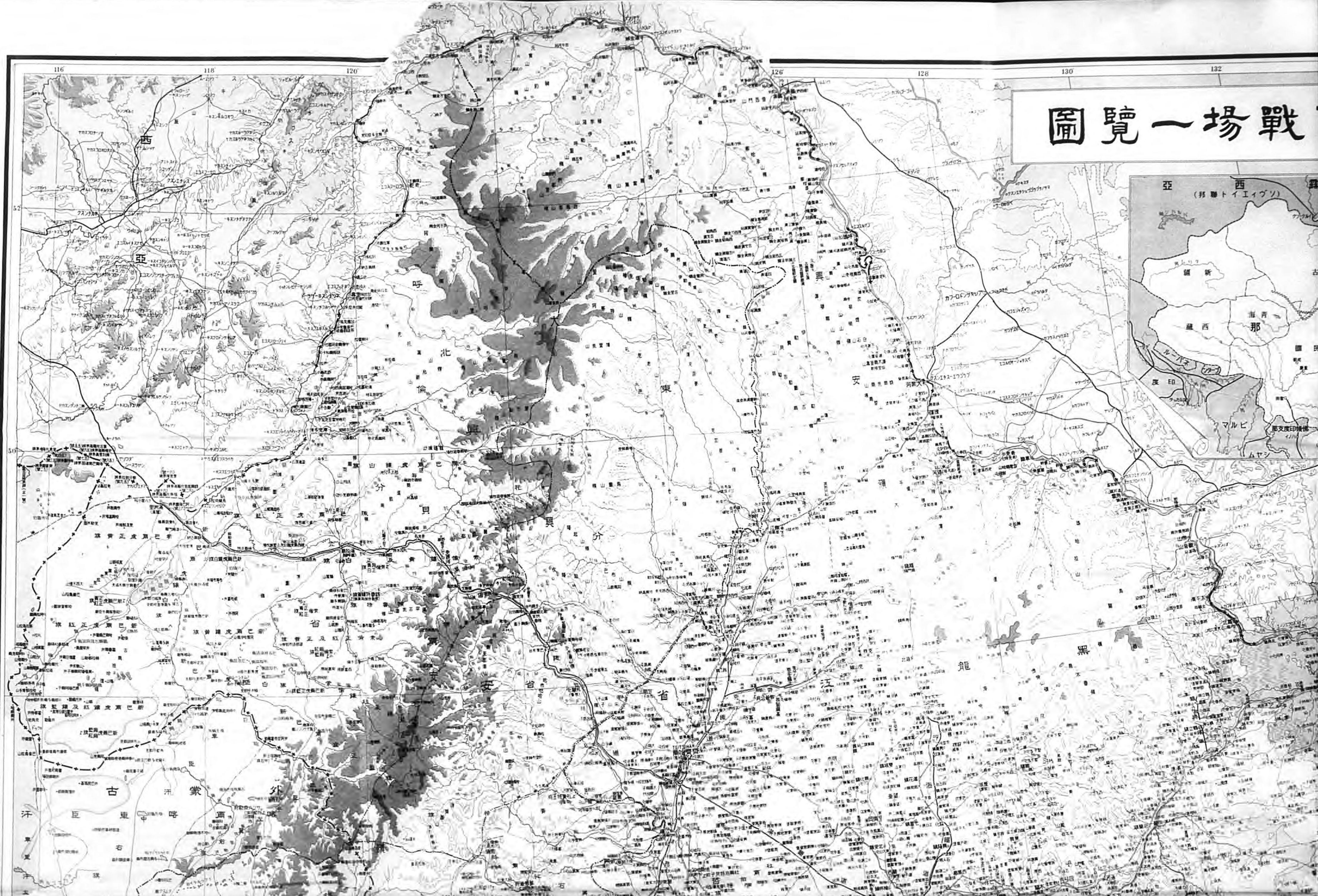
第三支那軍

KO 公安隊
Ken 憲兵
E 衛隊

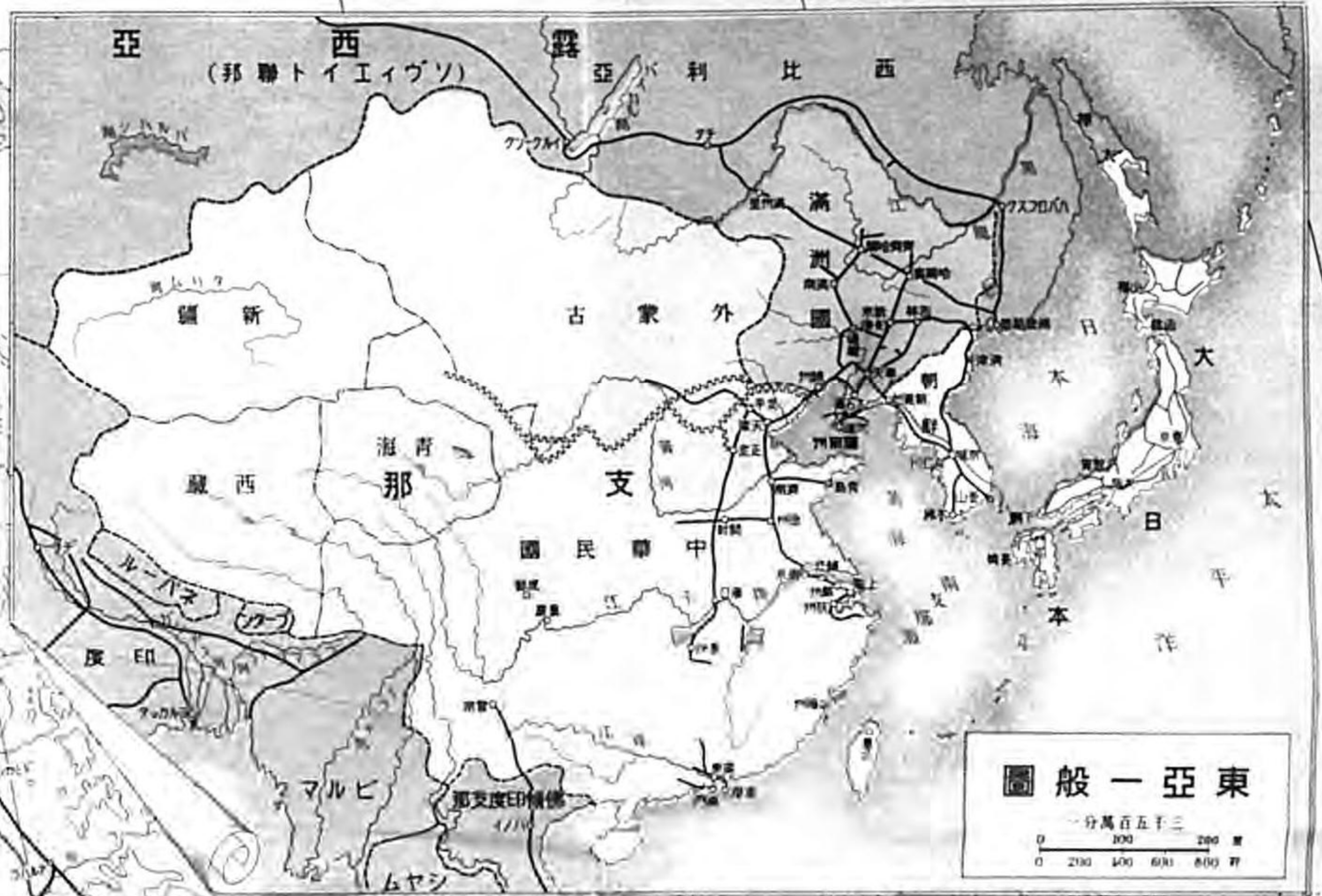
第四地物

ㄥ 高粱
止 蘆

圖覽一場戰

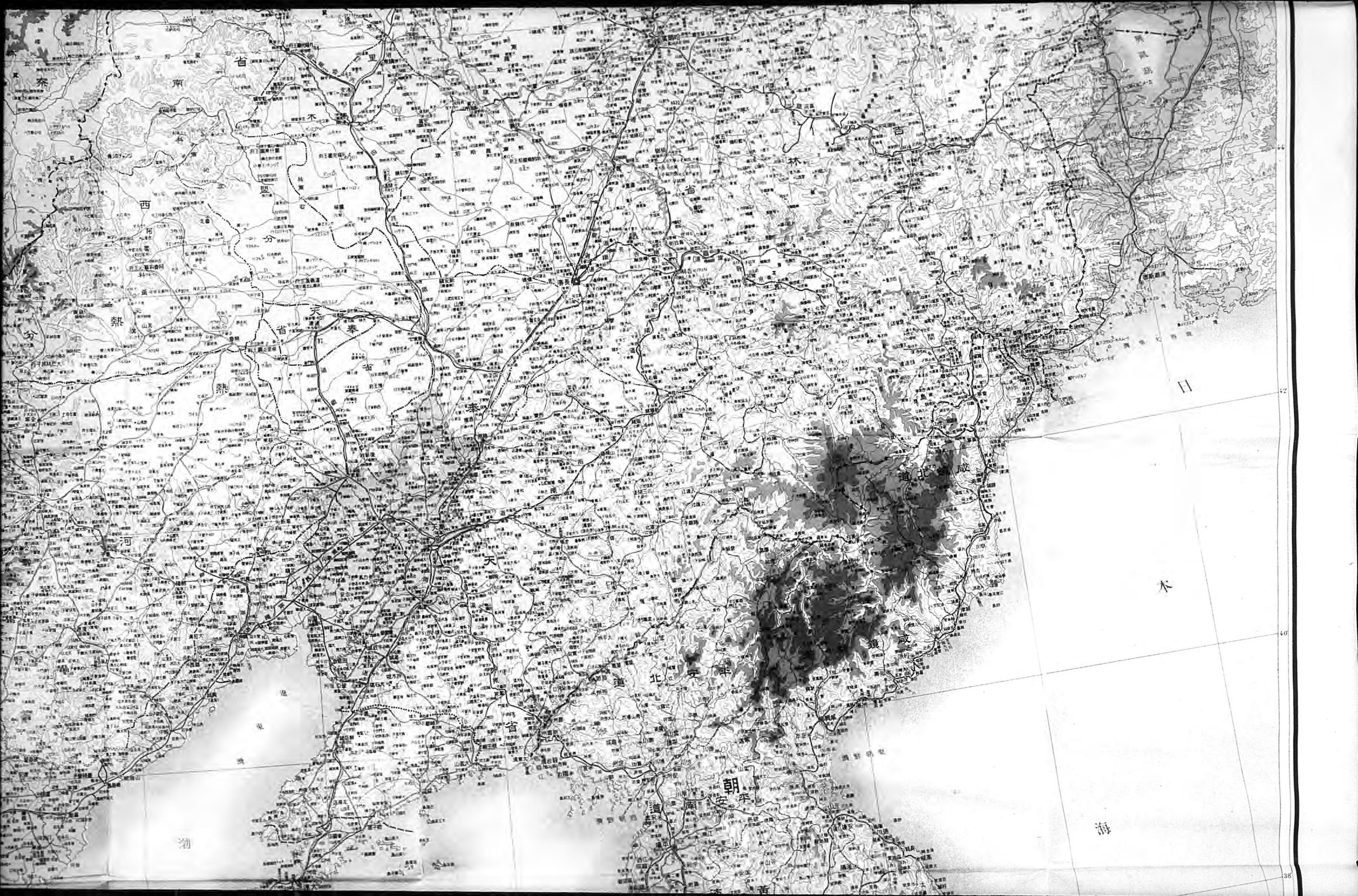


滿洲方面戰場一覽圖



東亞一般圖
一分萬五千三
0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

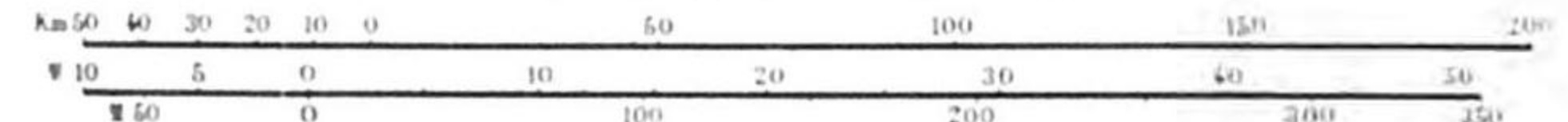




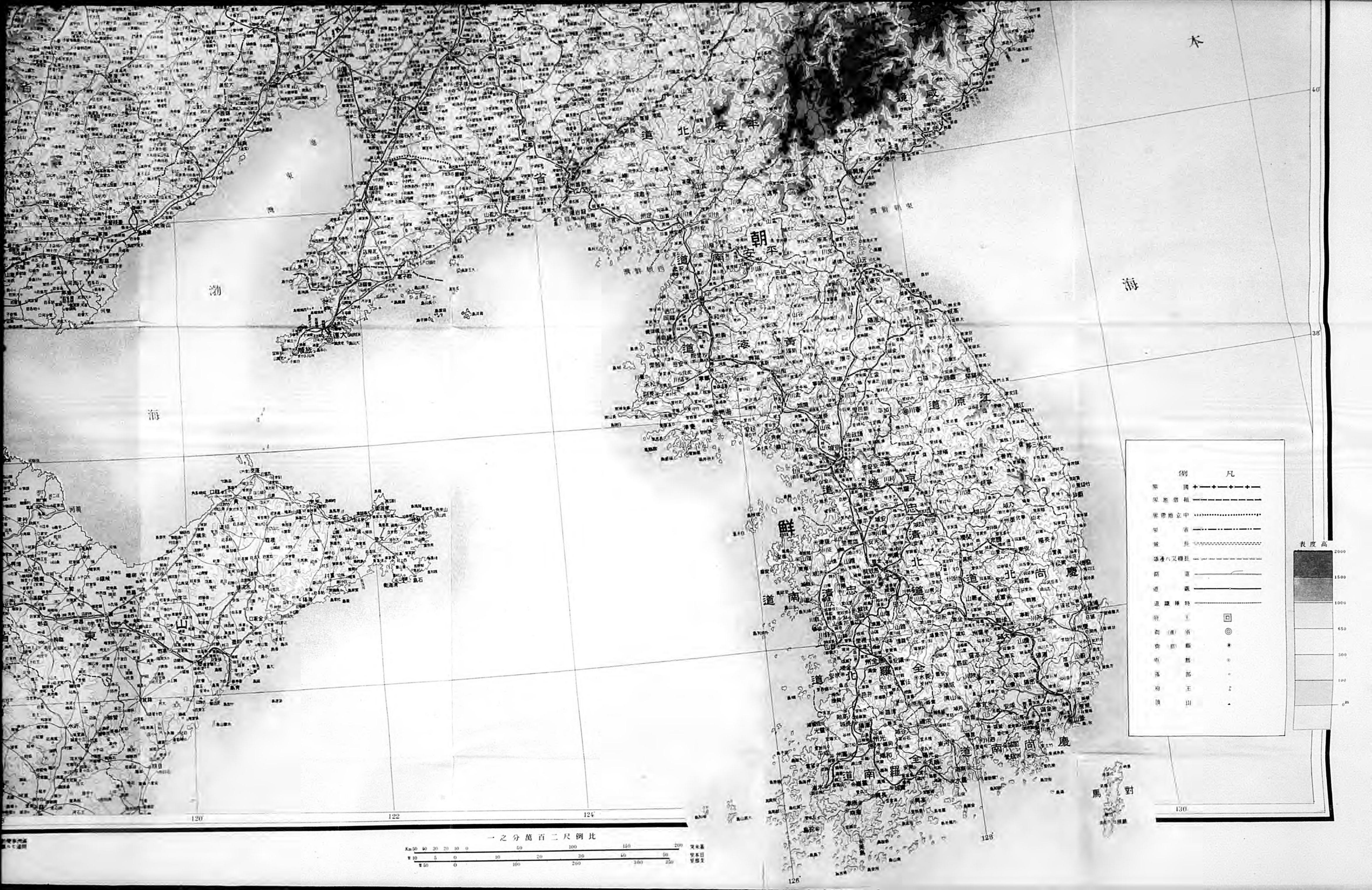


通商口岸 通商口岸 通商口岸

比例尺 1:200,000



1:200,000



木

40

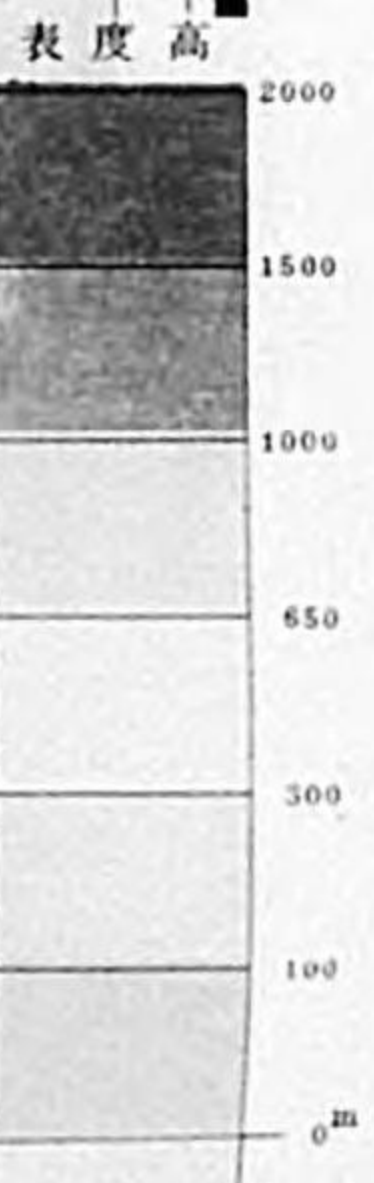
38

海

海

例 凡

- 界 國 +-----+
- 界 省 - - - - -
- 界 地 中 (dotted line)
- 界 縣 - - - - -
- 界 鄉 (dashed line)
- 界 村 (dash-dot line)
- 界 鄉 鎮 (long-dash line)
- 界 縣 城 (thick solid line)
- 界 道 路 (thin solid line)
- 界 鐵 路 (line with cross-ticks)
- 界 水 道 (line with wavy ticks)
- 界 山 嶺 (line with peaks)



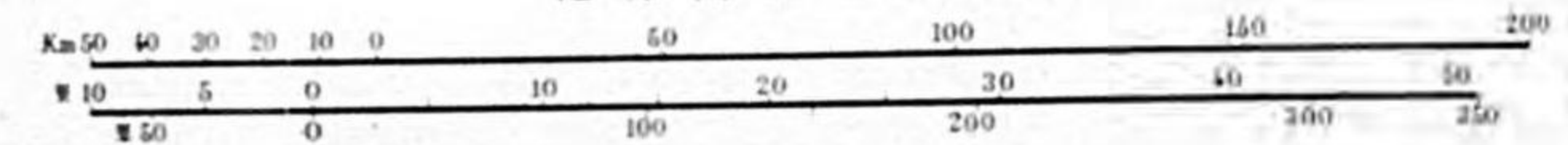
120

122

124

126

一 之 分 萬 百 二 尺 例 比



宋 朱 基
曾 本 日
曾 部 主

130

馬 對

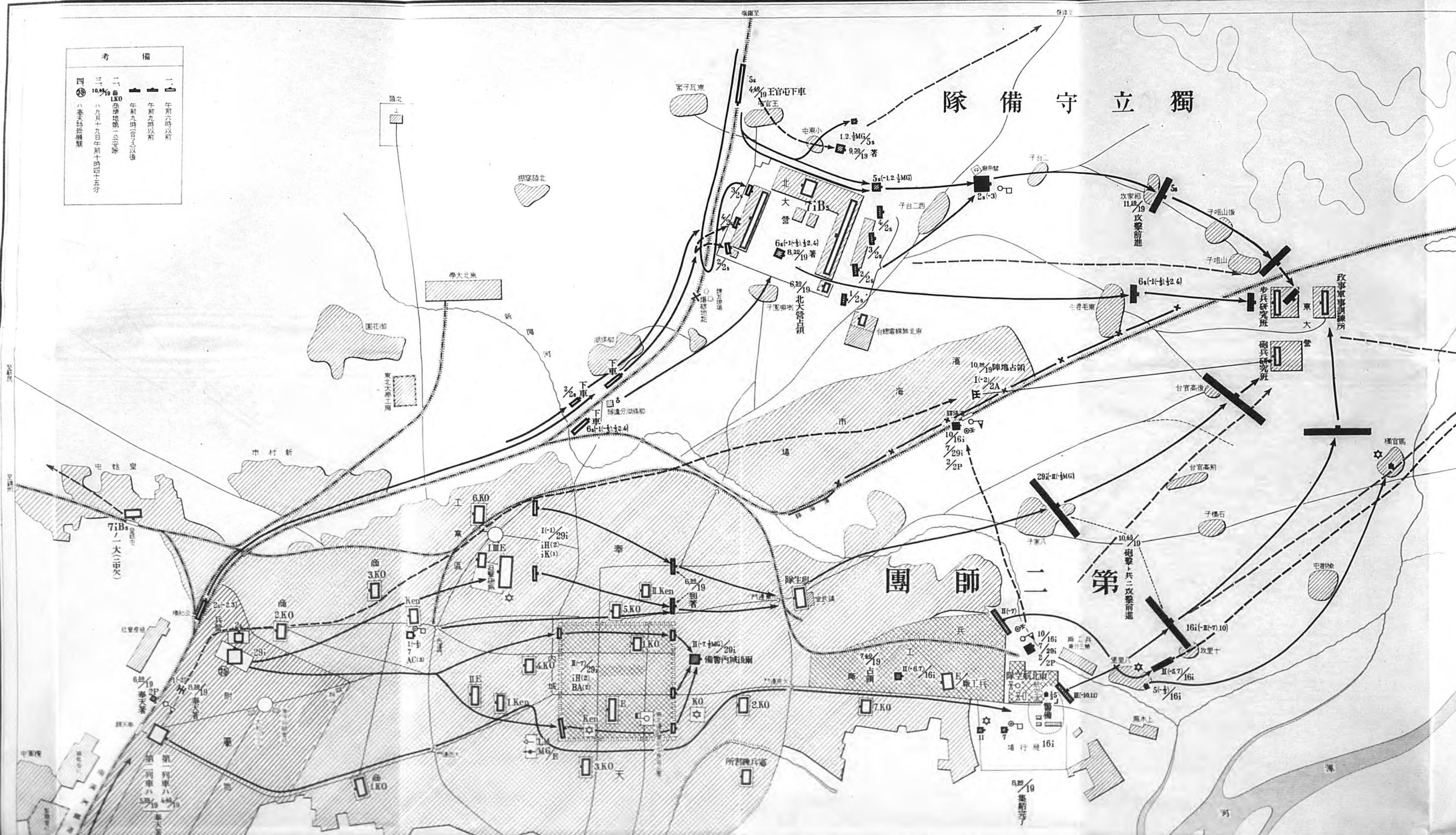
第八卷

附表附圖目次

奉天附近二師團及獨立守備隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十八日

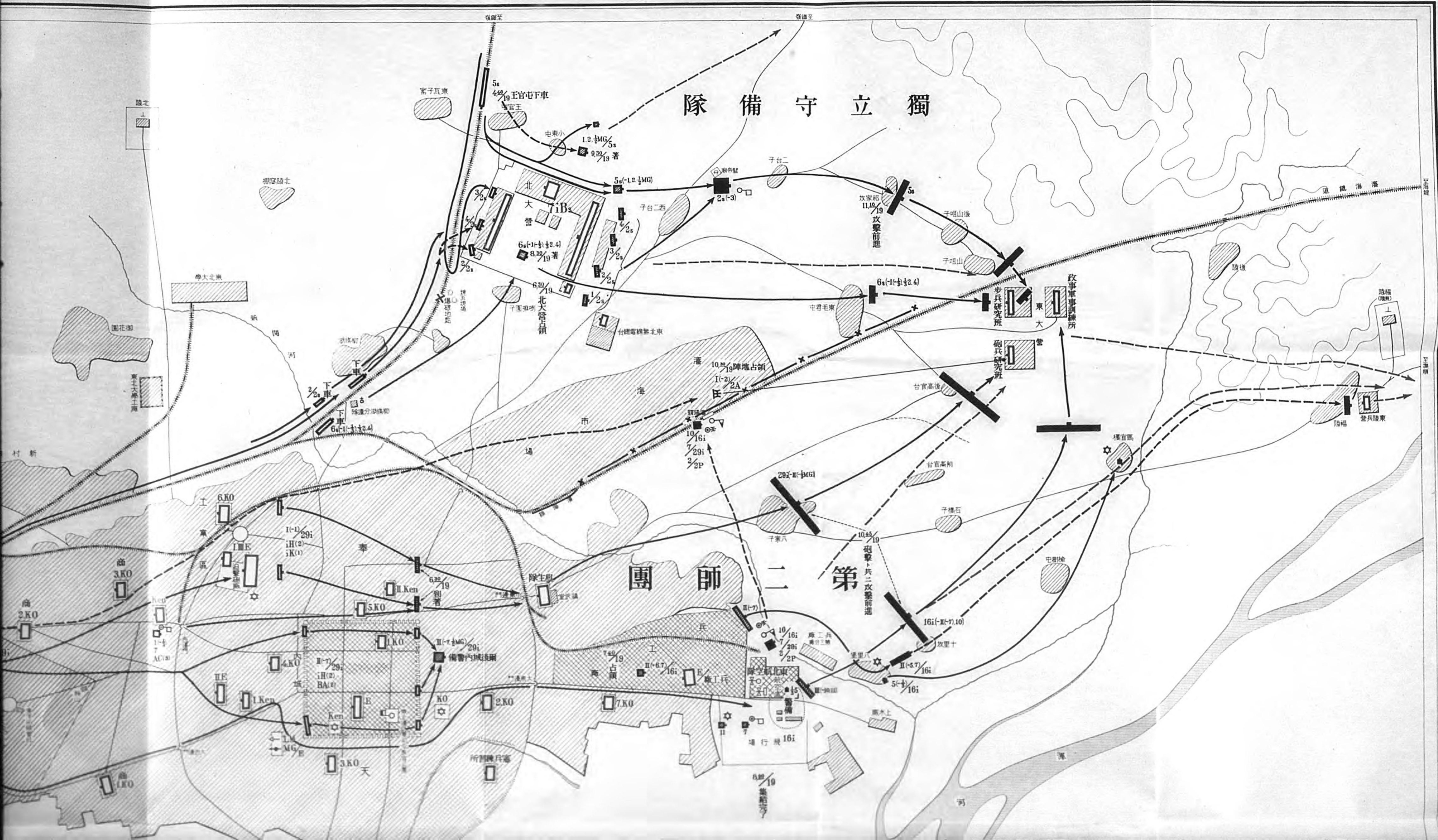
備考	
一	午前六時以前
二	午前九時以前
三	午前九時(含)以後
四	八月十九日午前十四時四十五分
五	八月十九日午前十四時四十五分以後
六	八月十九日午前十四時四十五分以後
七	八月十九日午前十四時四十五分以後
八	八月十九日午前十四時四十五分以後

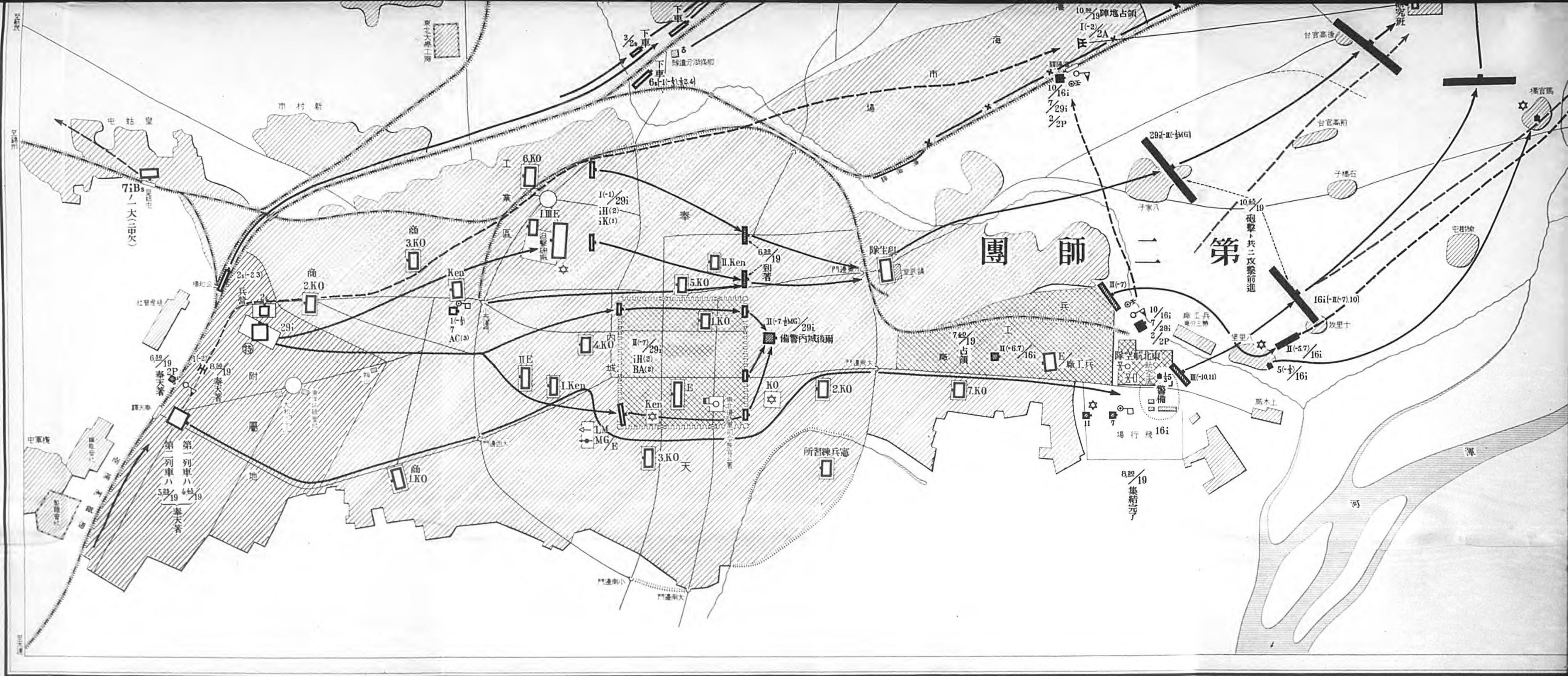


奉天附近二師團及獨立守備隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十八日

附圖第三

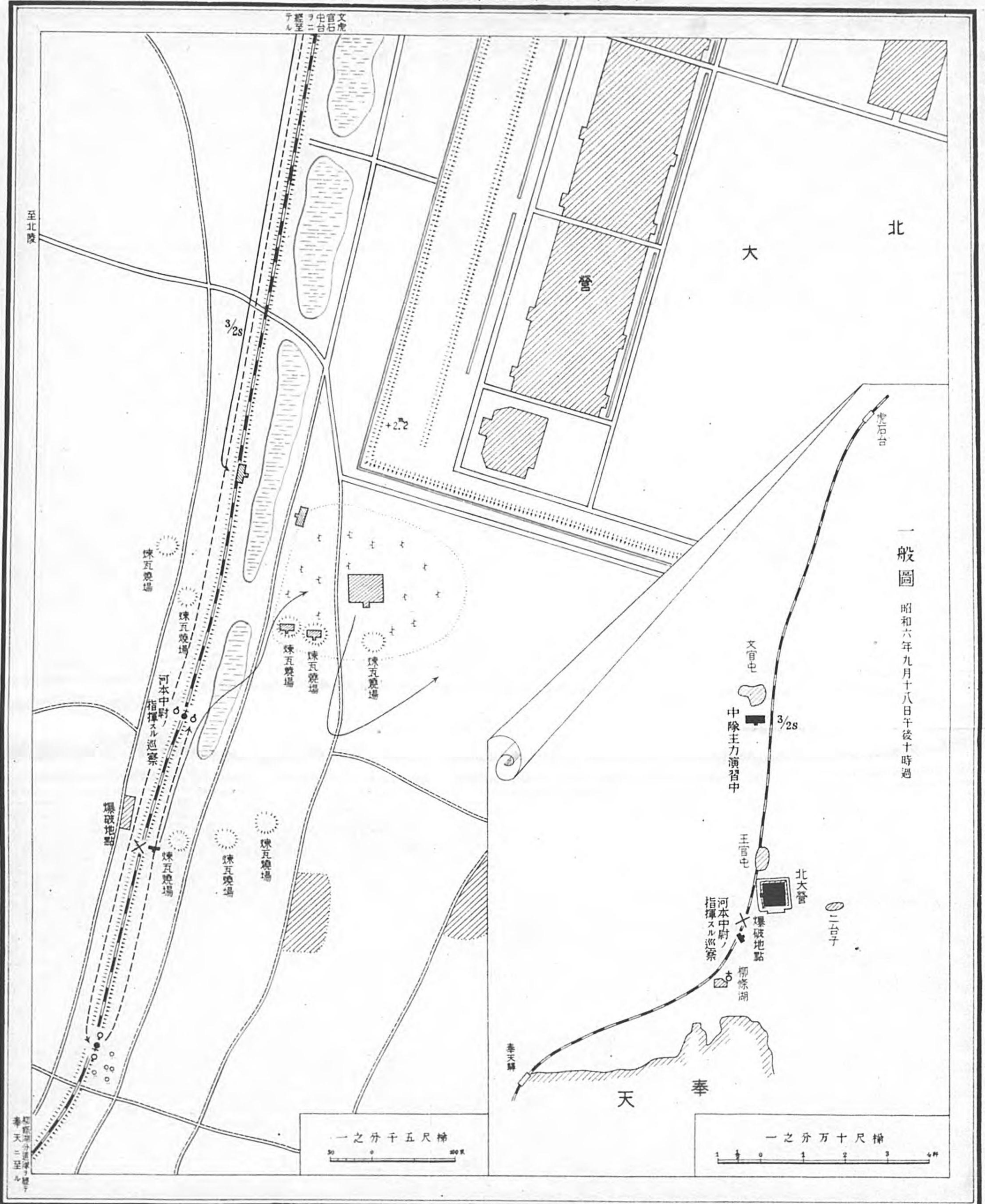




北營西南側附近於獨立守備步兵第二隊第三隊中隊戰經過要圖

昭和六年九月十八日夜

附圖第四



一般圖 昭和六年九月十八日午後十時過

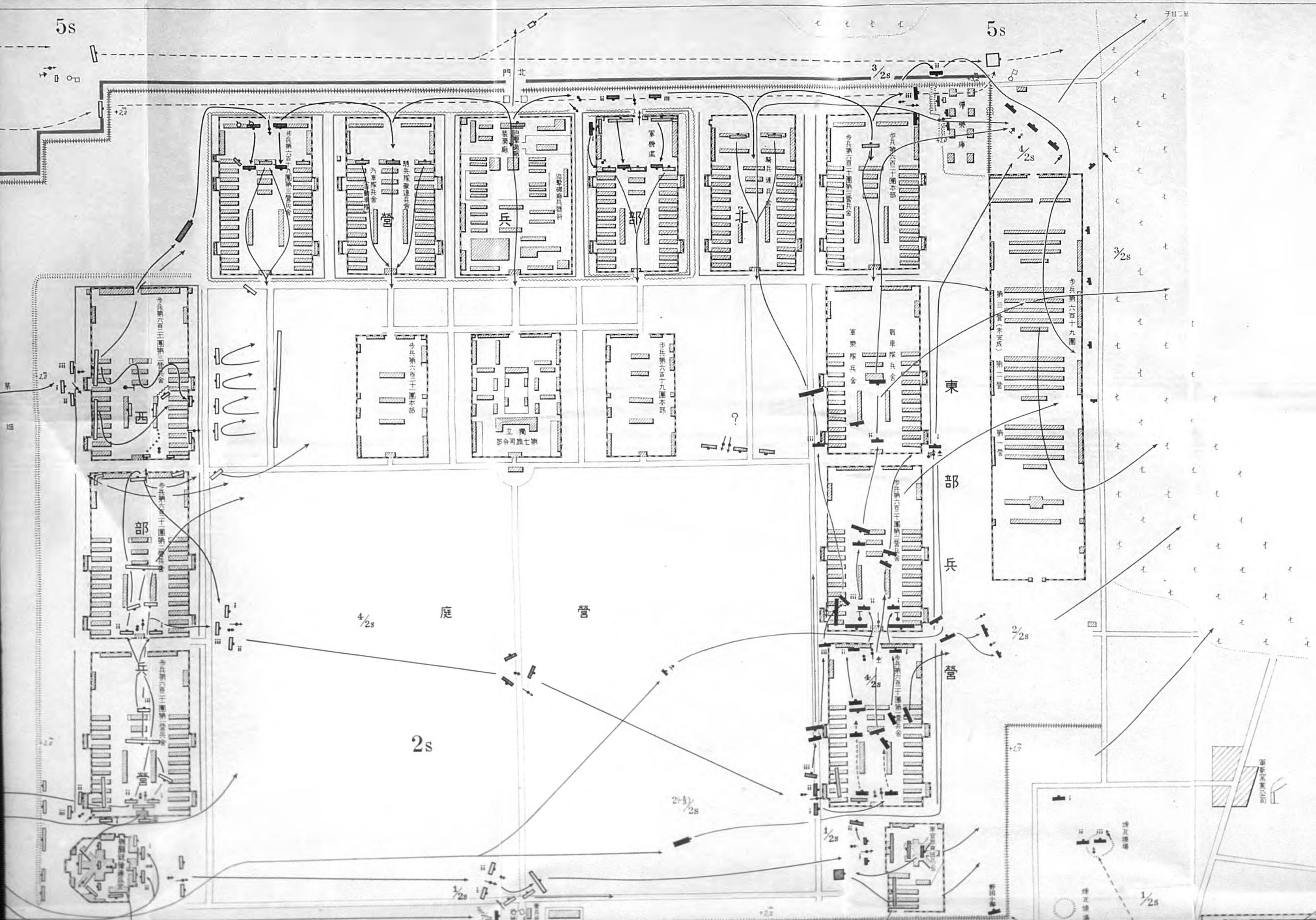
一之分千五尺 繪

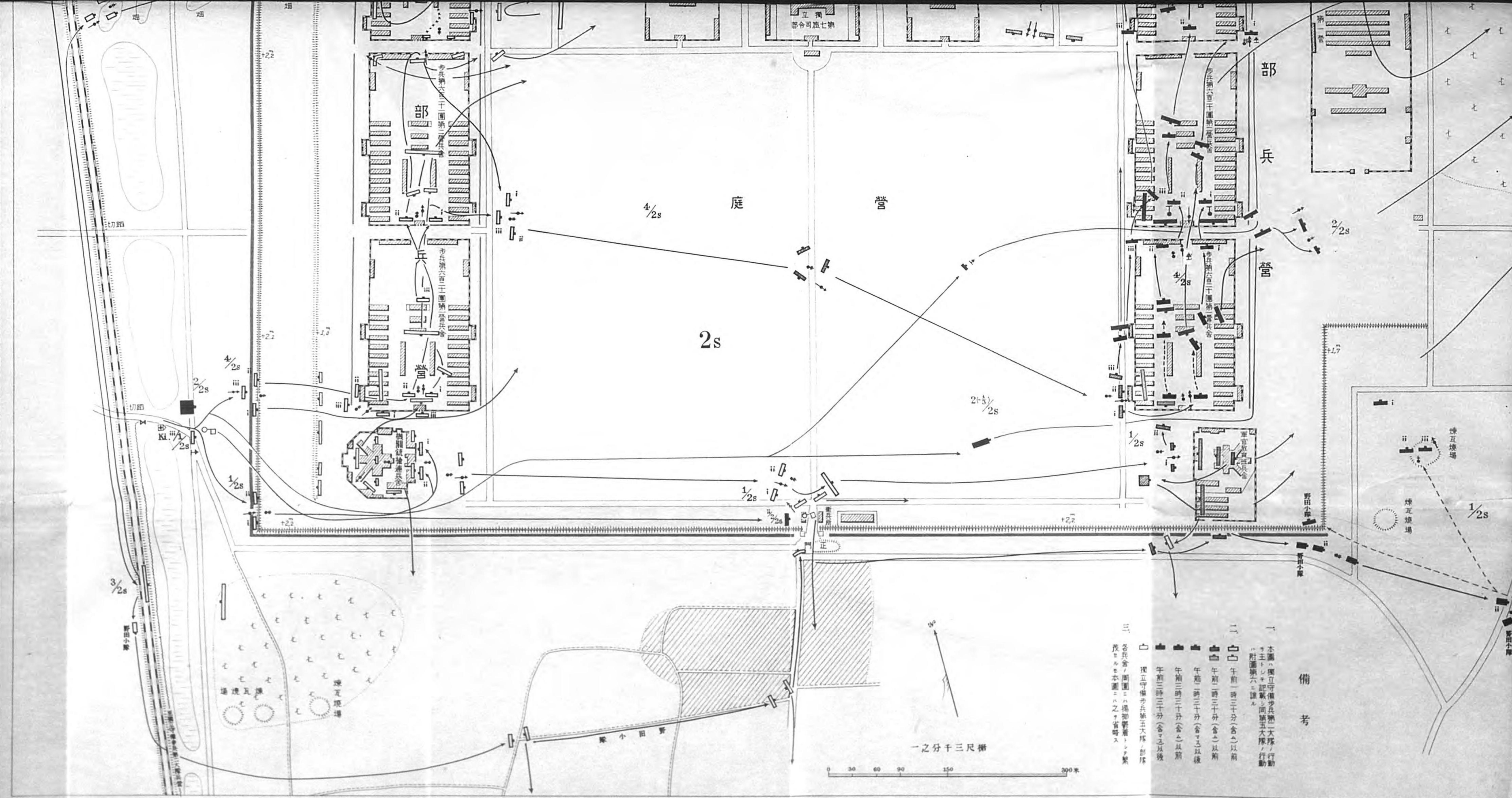
一之分万十尺 繪

奉天二至九

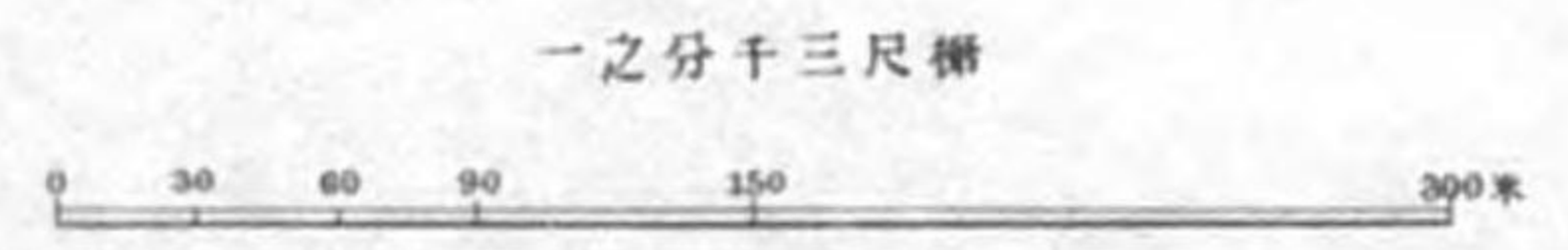
北大營附近ニ於ケル獨立守備隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十八日夜

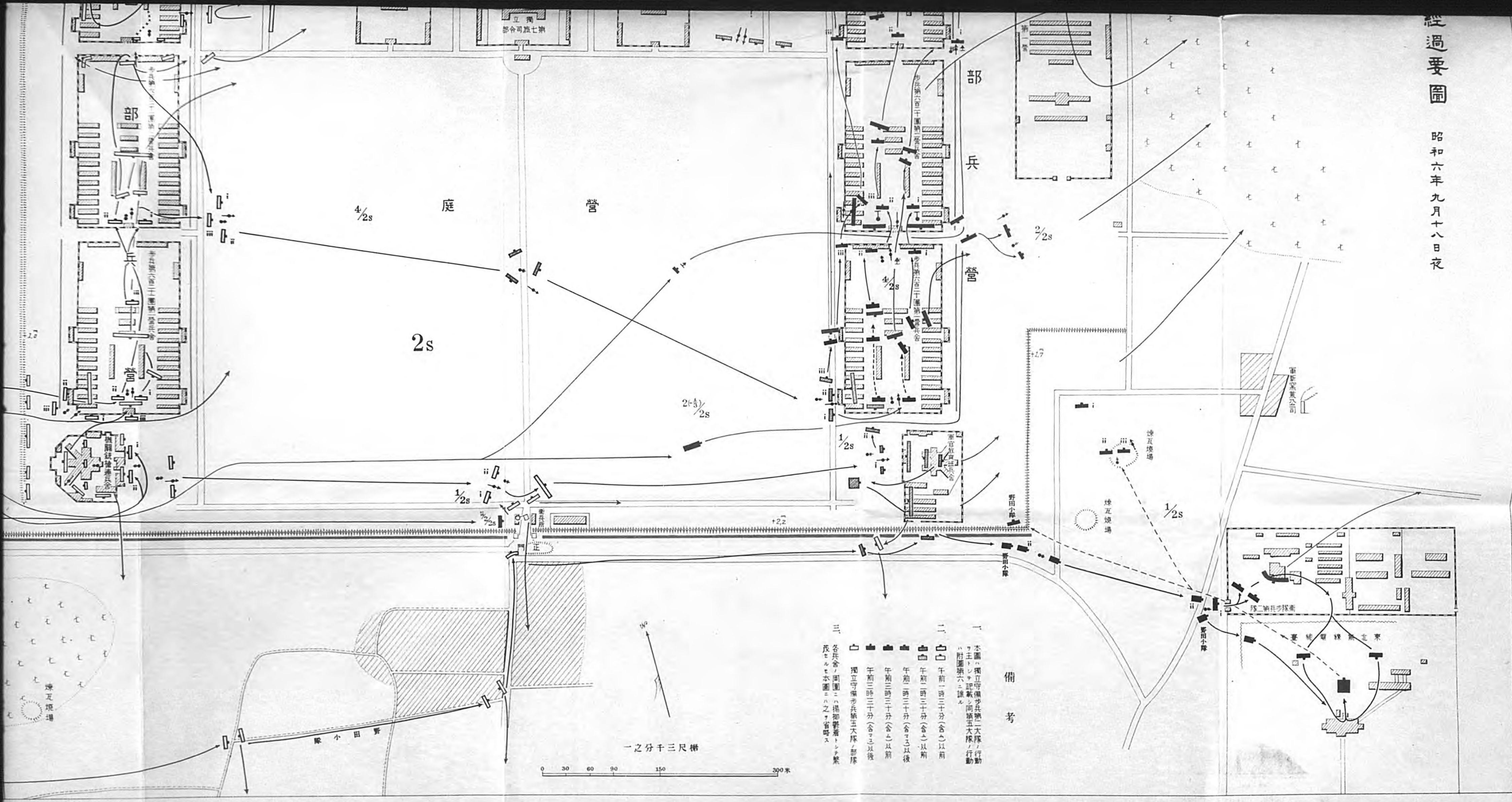




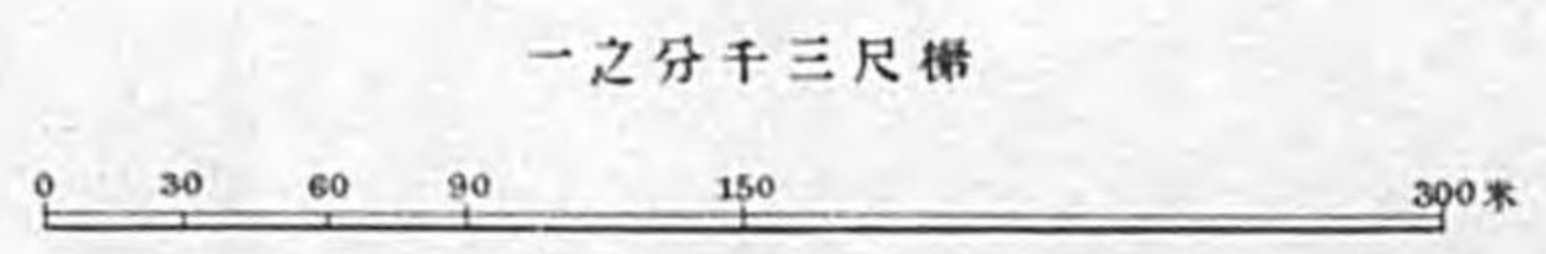
- 備考
- 一 本圖ハ獨立守備步兵第一大隊ノ行動ヲ主トシテ記載シ同第五大隊ノ行動ハ附屬第六二號ル
 - 二
 - 午前一時三十分(含)以前
 - ◐ 午前二時三十分(含)以前
 - ◑ 午前二時三十分(含)以後
 - ◒ 午前三時三十分(含)以前
 - ◓ 午前三時三十分(含)以後
 - 三 獨立守備步兵第六大隊ノ部隊
各兵舎ノ周圍ニハ掃部警備トシテ
茂セルモ本圖ニハ之ヲ省略ス

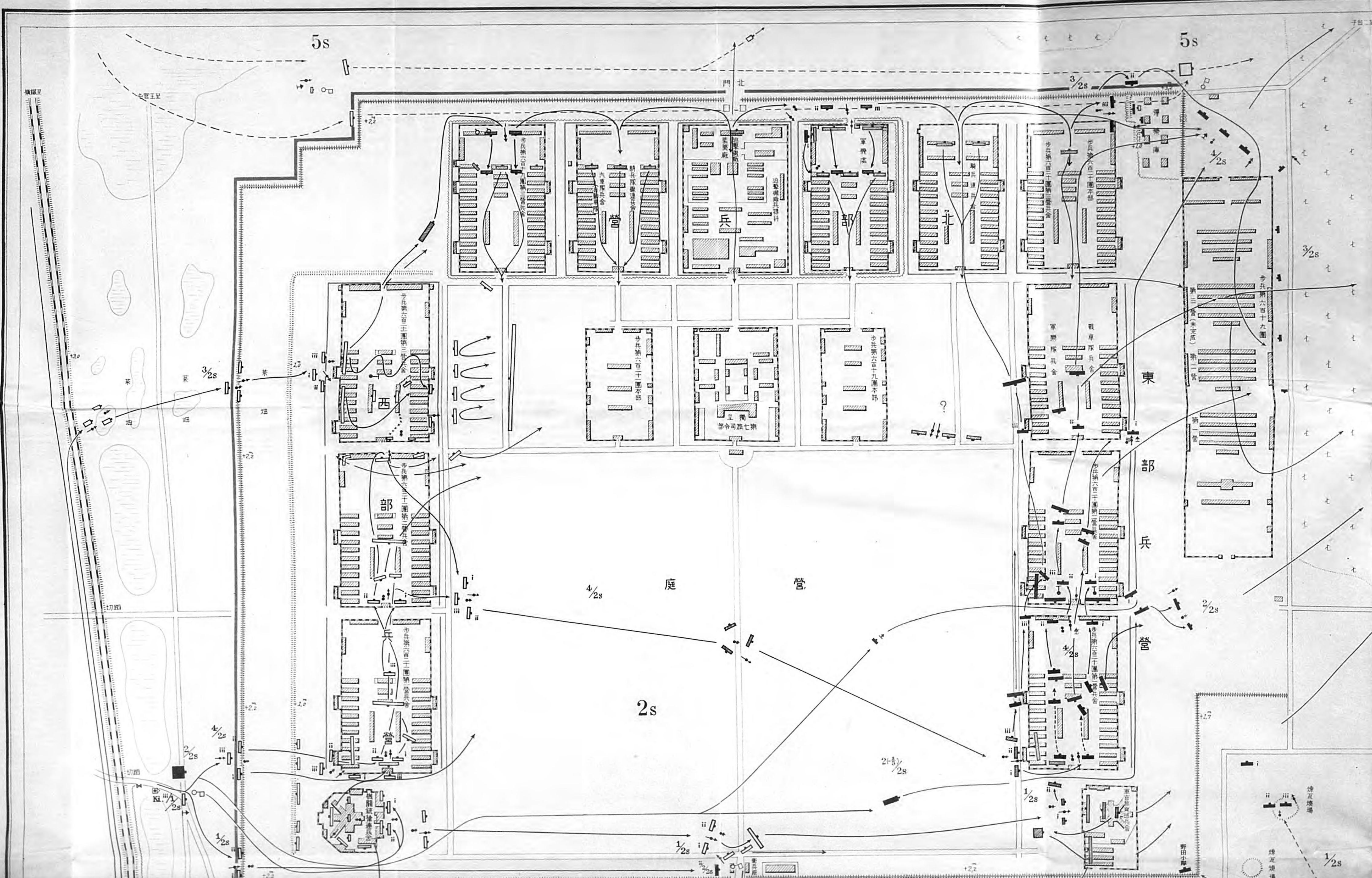


經過要圖 昭和六年九月十八日夜



- 備考
- 一 本圖ハ獨立守備步兵第二大隊ノ行動ヲ主トシテ記載シ同第五大隊ノ行動ハ附屬第六二號ル
 - 二 午前一時三十分(含)以前
 午前二時三十分(含)以後
 午前三時三十分(含)以前
 午前三時三十分(含)以後
 - 三 各兵舎ノ周圍ニハ掃部署者トシテ繁茂セルモ本圖ニハ之ヲ省略ス





5s

5s

北門

東

部

兵

庭

營

營

2s

4/2s

3/2s

4/2s

2/2s

1/2s

1/2s

2+5/2s

2/2s

1/2s

1/2s

3/2s

3/2s

4/2s

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

4

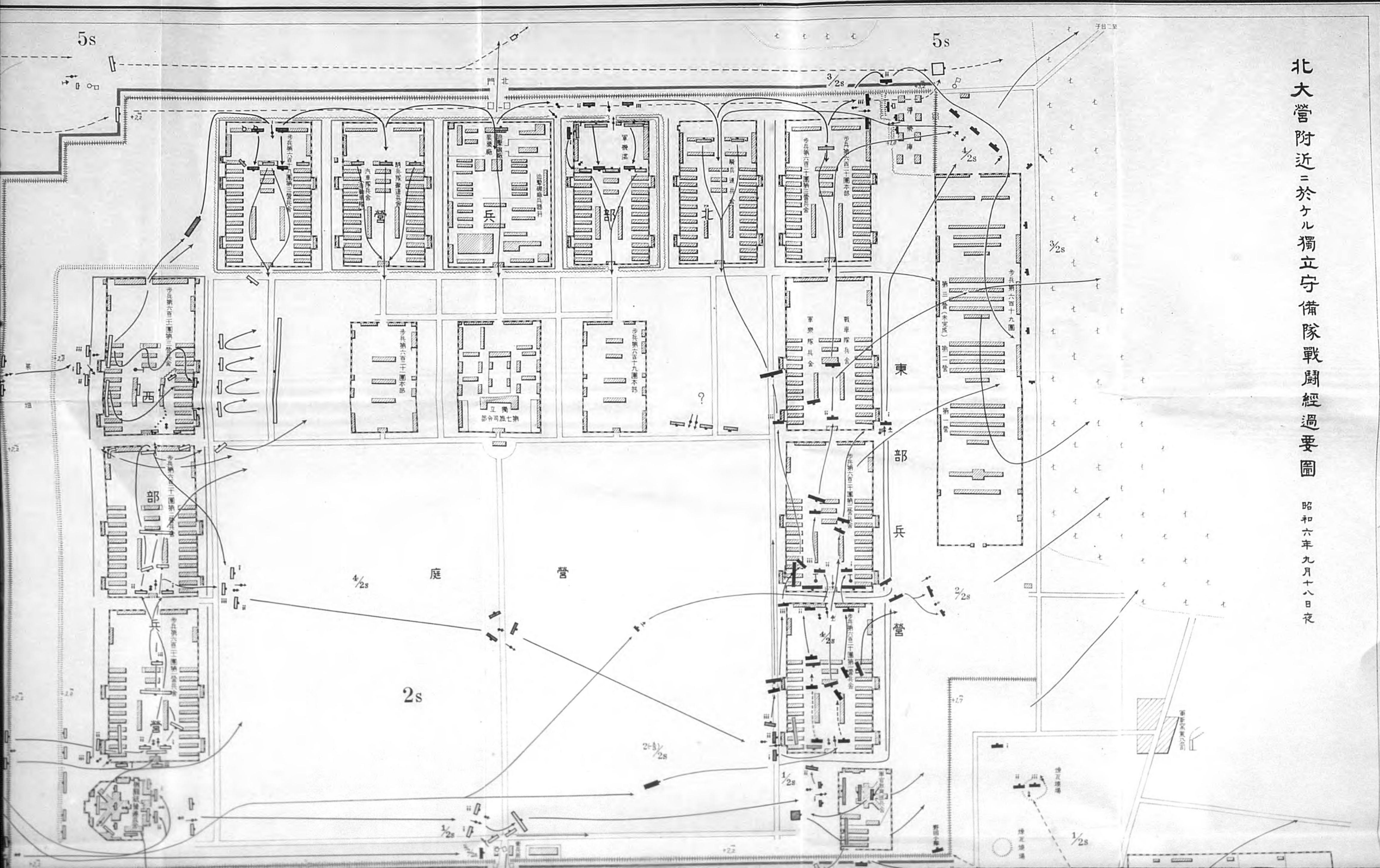
4

4

</

北大營附近ニ於ケル獨立守備隊戰鬥經過要圖

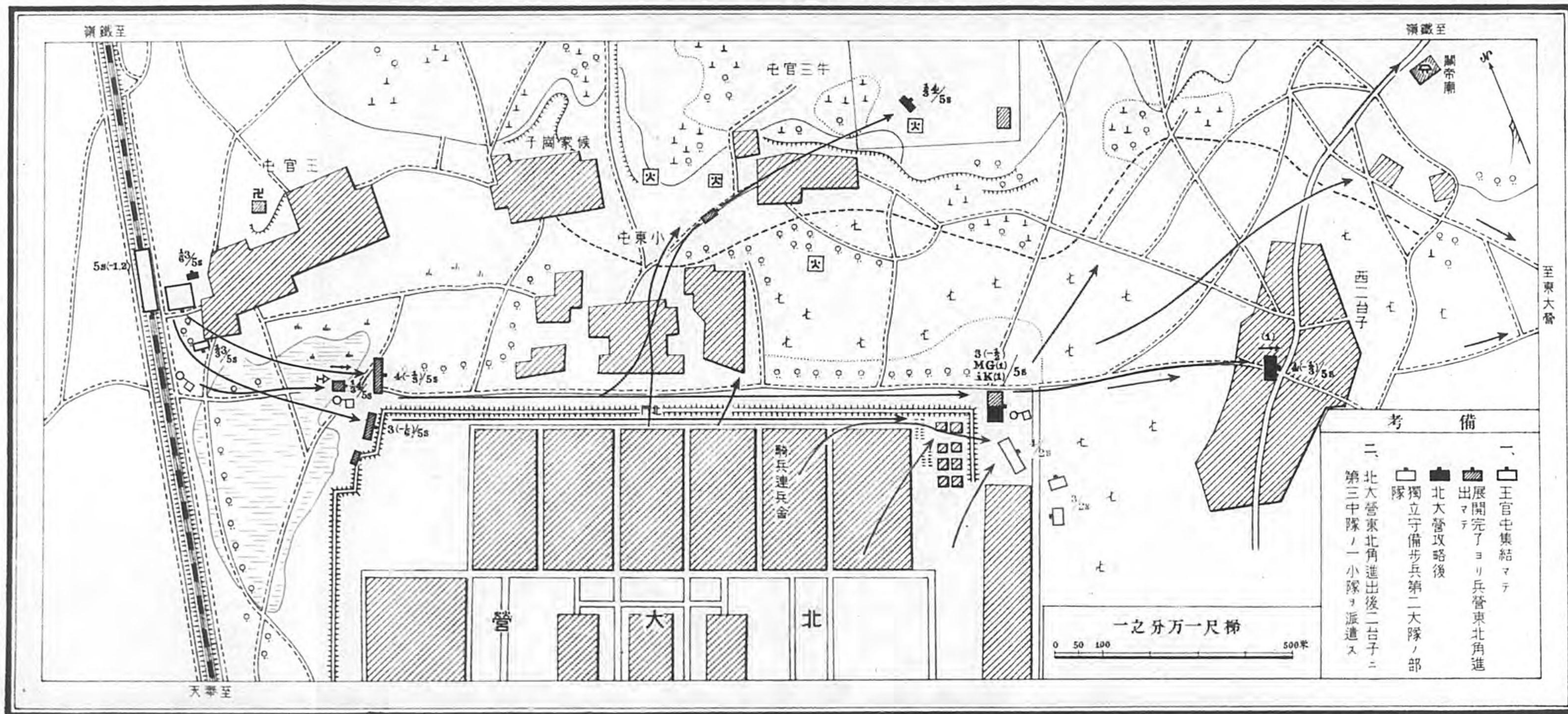
昭和六年九月十八日夜



北營附近二於獨立守備步兵第五大隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十九日

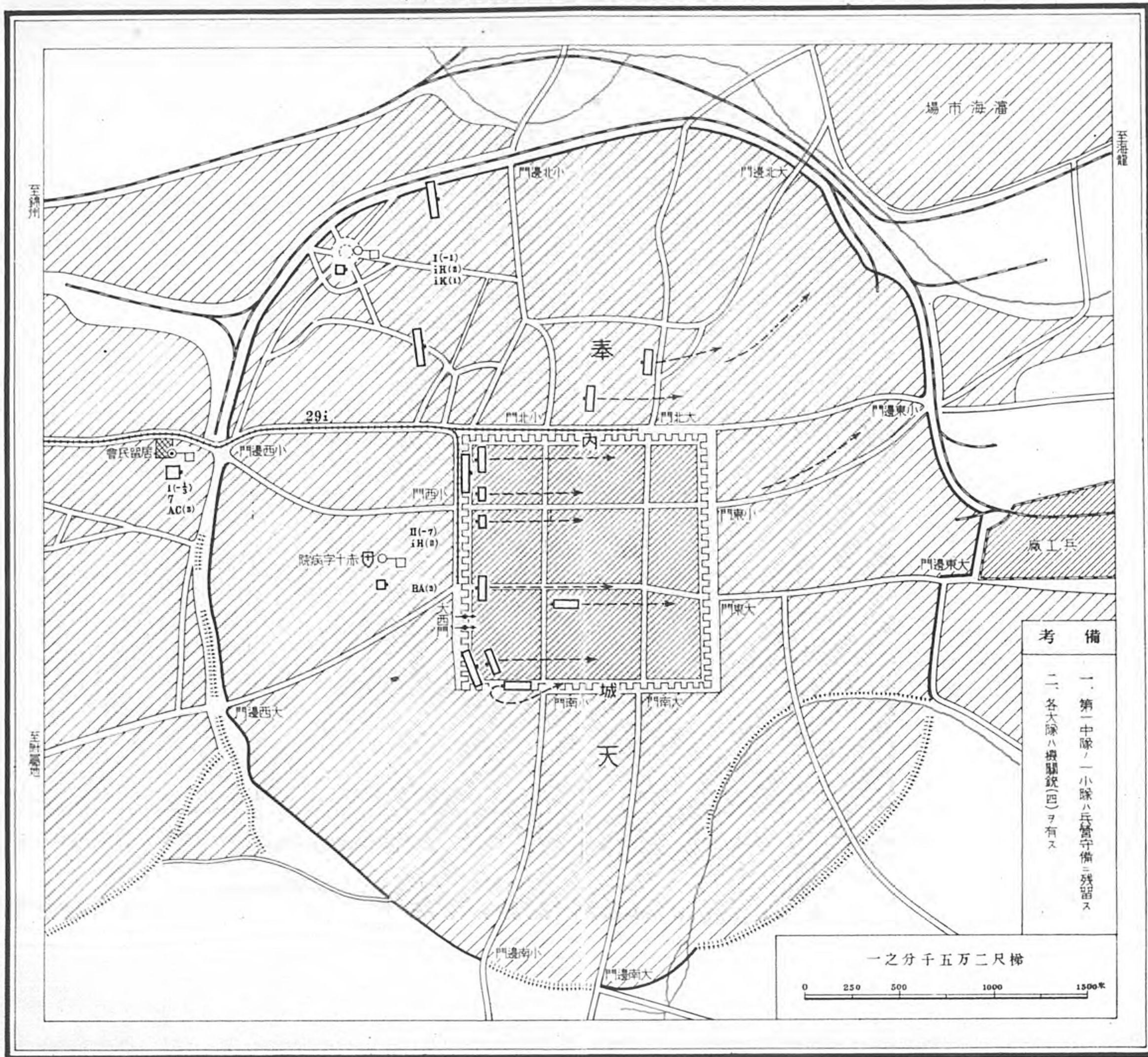
附圖第六



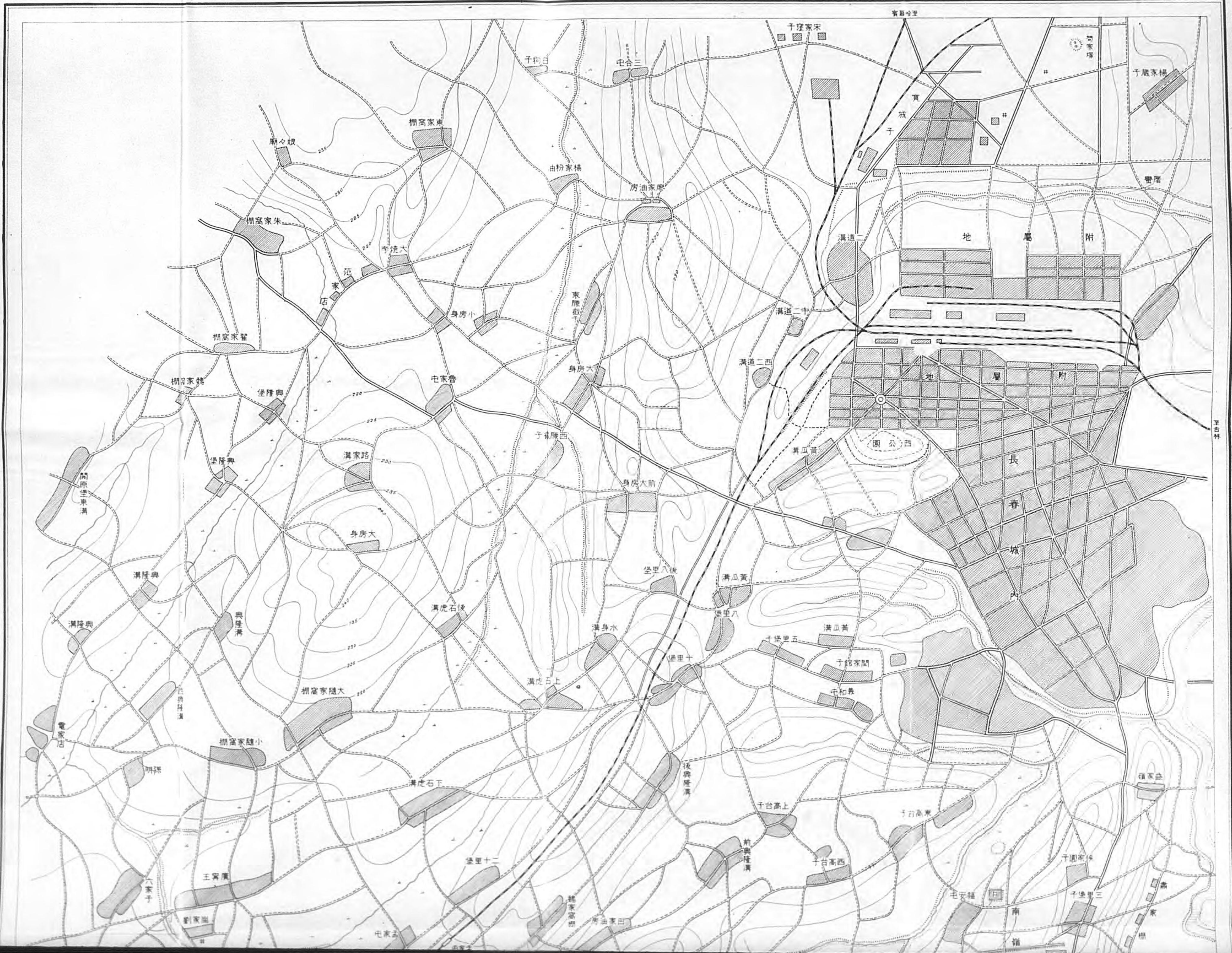
步兵第二十九聯隊態勢要圖

昭和六年九月十九日午前四時三十分

附圖第七

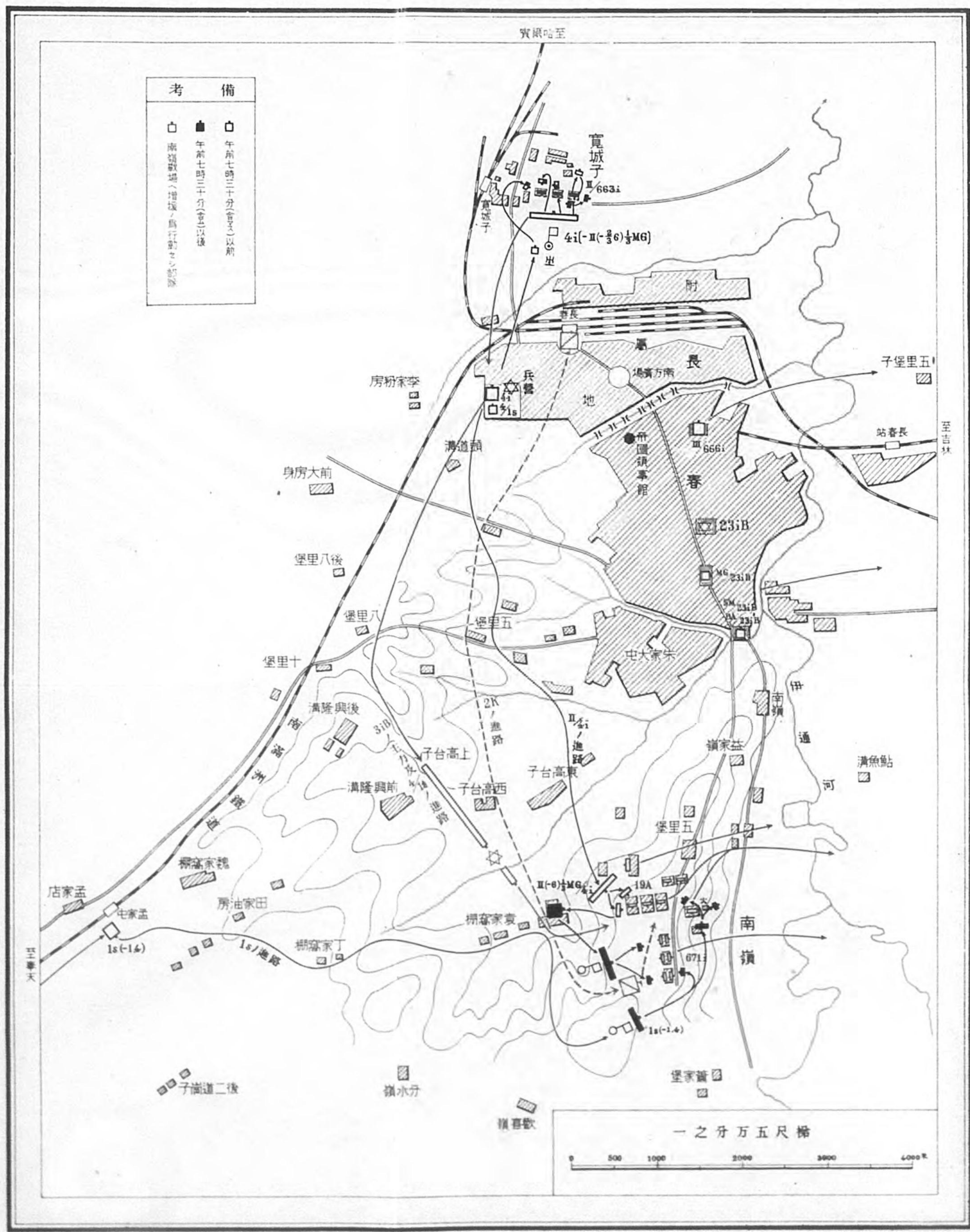


長春附近地形圖



步兵第三旅團 (獨守立備步兵第一隊) 於長春附近之戰鬥經過要圖

昭和六年九月十九日



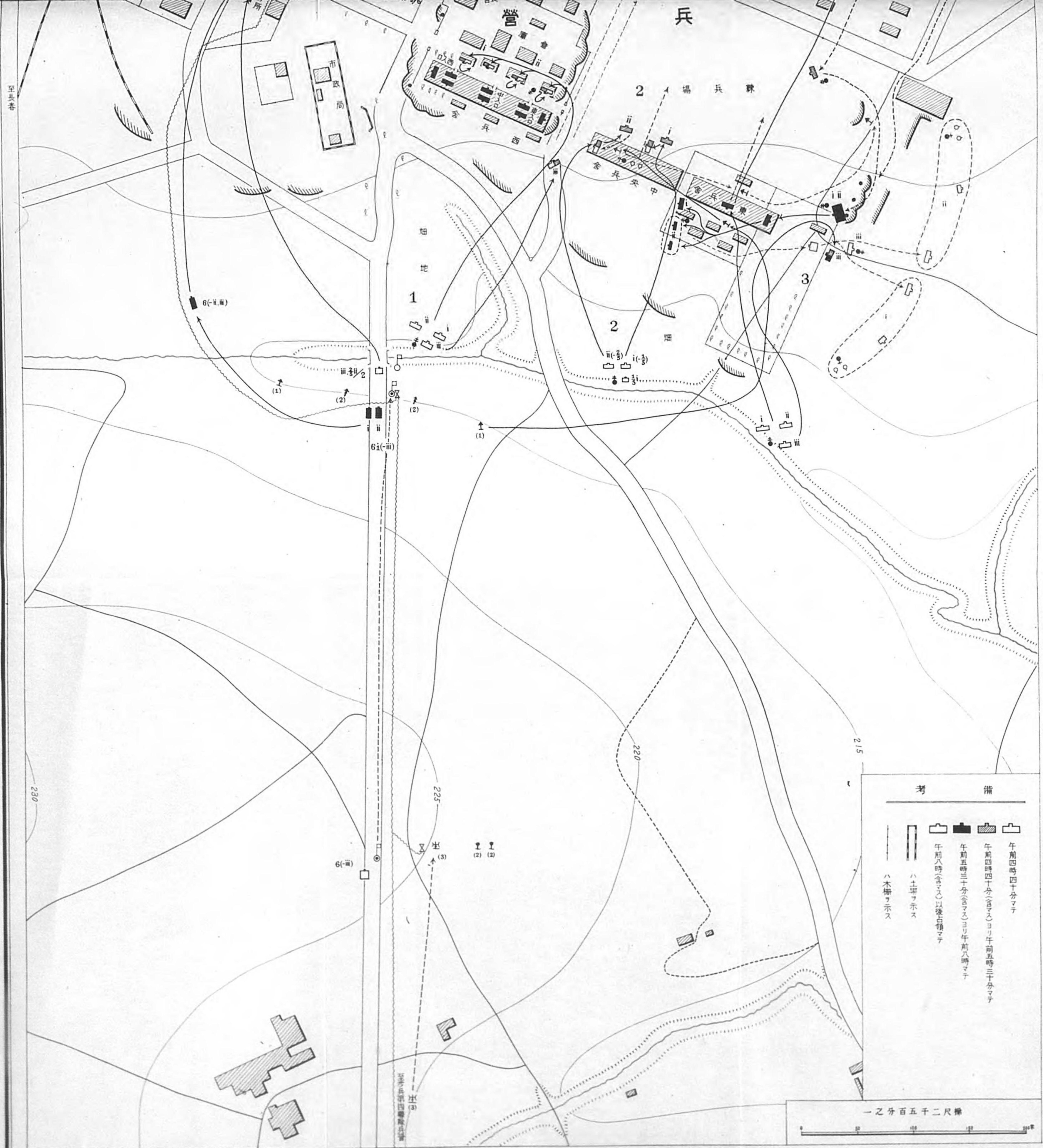
寬城子附近二於步兵第四聯隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十九日

附圖第十



至長春



考 備

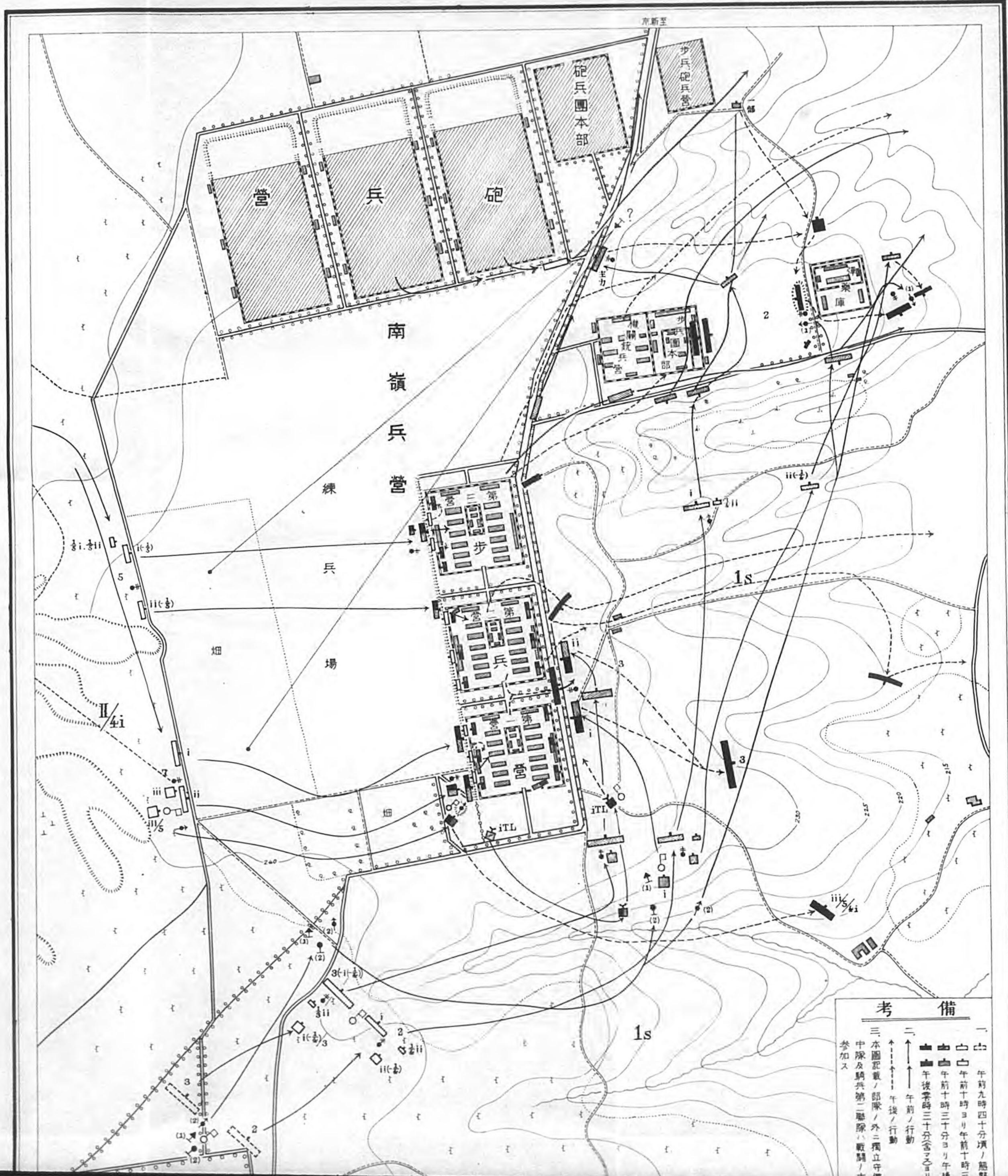
	ハ木柵ヲ示ス	午前四時四十分マテ
	ハ土塼ヲ示ス	午前四時四十分(含マシヨリ)午前五時三十分マテ
	午前八時(含マシヨリ)以後占領マテ	午前五時三十分(含マシヨリ)午前八時マテ

一之分百五千二尺標

至長春

南嶺附近二於之步兵獨立守備隊第四聯隊第二大隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十九日

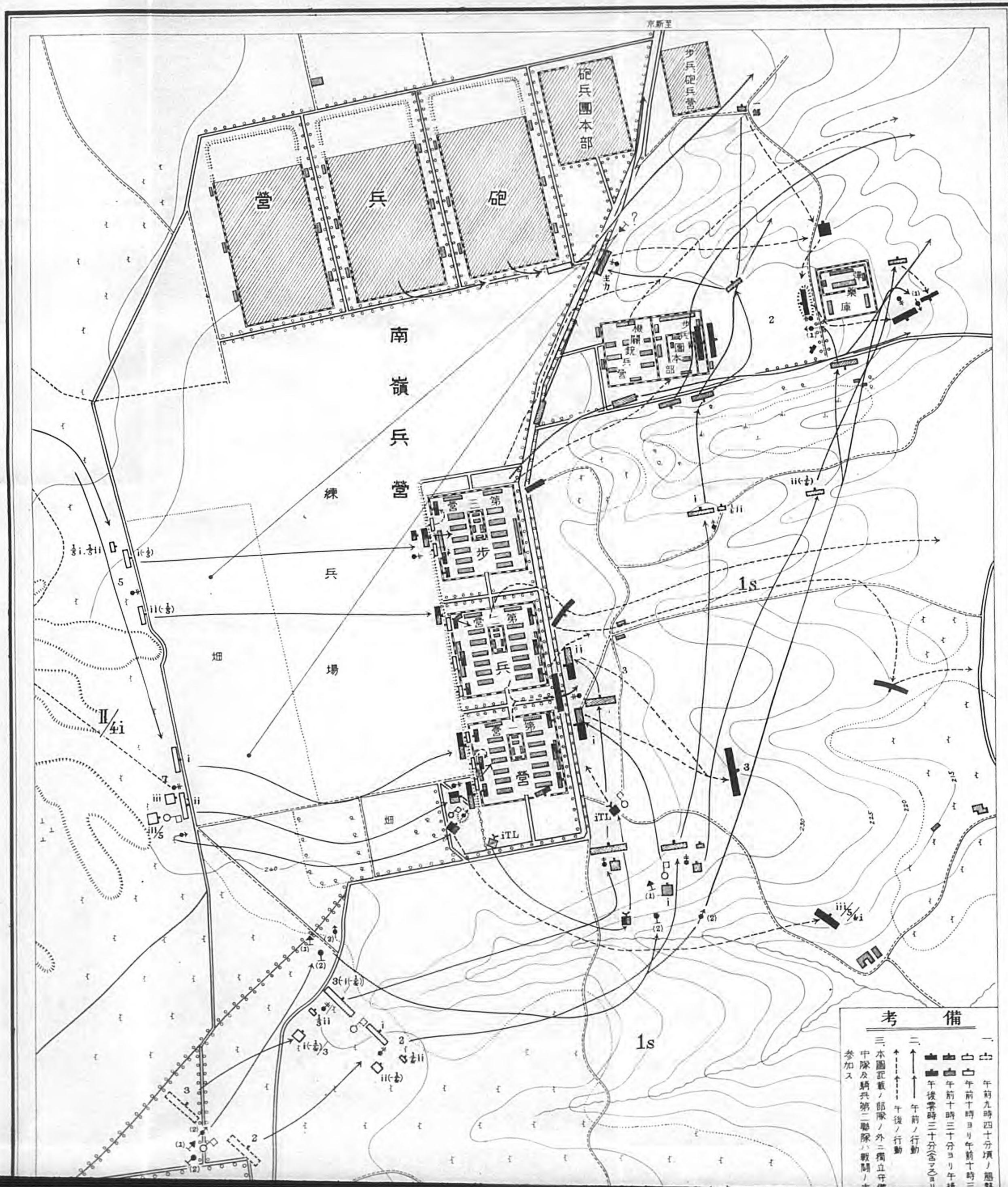


考 備

一、午前九時四十分頃ノ態勢
 二、午前十時ヨリ午前十時三十分
 三、午前十時三十分ヨリ午後
 四、午後零時三十分迄マデヨリ
 五、午後ノ行動
 六、午前ノ行動
 七、本圖記載ノ部隊ノ外ニ獨立守備
 中隊及騎兵第一聯隊ハ戰闘ノ末
 参加ス

南嶺附近二於ヶ歩兵第四聯隊第二大隊戰鬥經過要圖

昭和六年九月十九日



考 備

一、午前九時四十分頃ノ懸點
 二、午前十時ヨリ午前十時三十分
 三、午後零時三十分迄マデヨリ
 四、午前ノ行動
 五、午後ノ行動
 六、本圖記載ノ部隊ノ外ニ獨立守備中隊及騎兵第二聯隊ハ戰鬥ノ事ニ参加ス

大興附近戰場地勢圖

昭和六年十一月四日午後三時十分頃

備考

一、本圖ハ中華民國製五万分一ヲ基礎トシ之ニ航空寫真本邦製十万分一及編纂委員ノ踏査戰圖詳報附圖等ニ依リ修正ヲ加ヘテ作製セシモノナリ(以下大興附近ノ圖モ同様)

二、Xハ破壞橋梁ヲ示ス



嫩江第二橋梁附近地形圖

昭和六年十一月四日



備考一 敵機築セシモノ工兵隊カ補修セル道路

一、工兵隊ノ新設セル道路

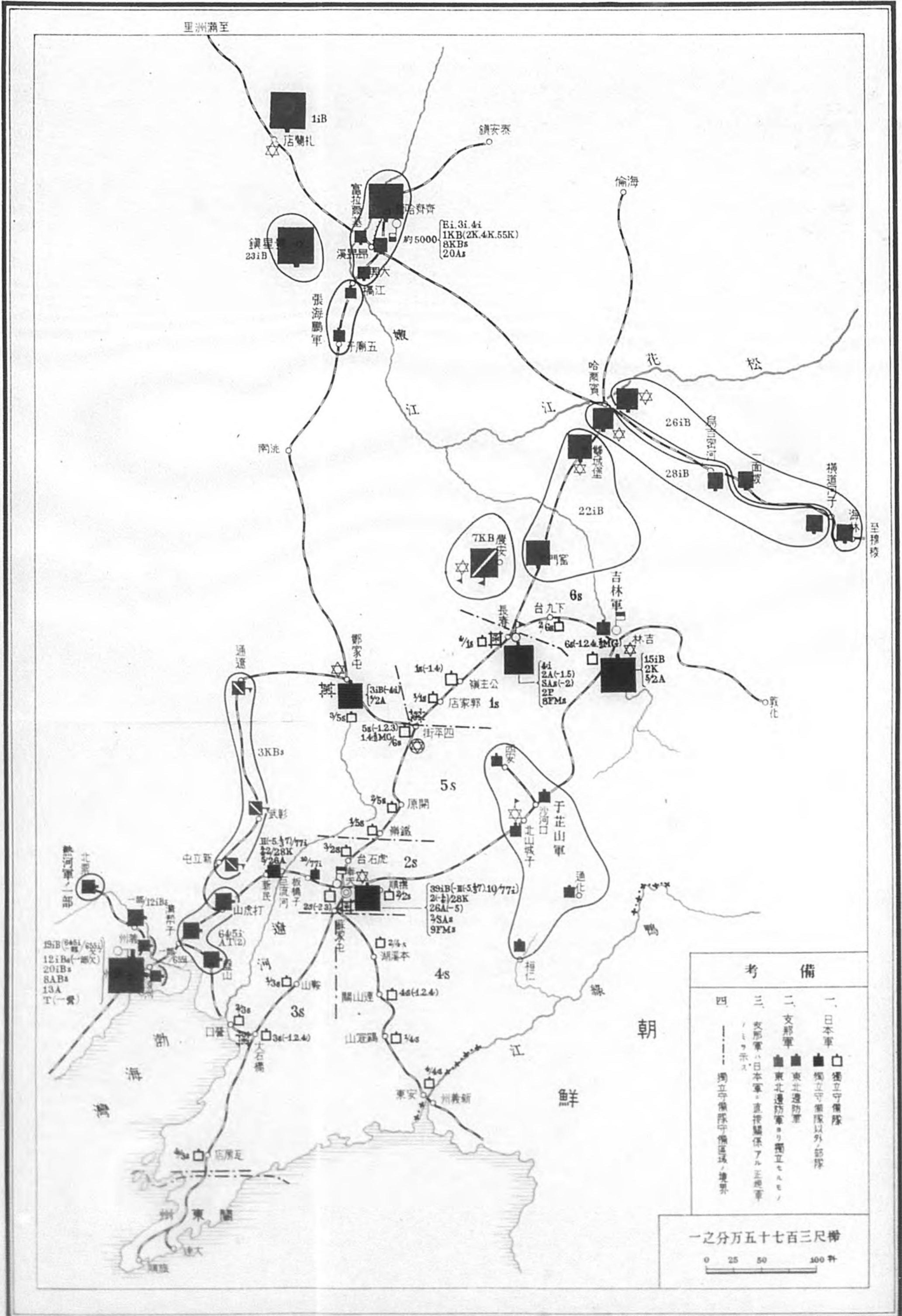
二、石川砲兵中隊及歩兵山砲隊ハ何レモ敵機築セル道路ヲ利用シテ前進ス但歩兵山砲隊ノ前進當時ニ兵隊ハ未タ補修作業ヲ加ヘアラス

一之分万五尺標



關東軍支那軍配置要圖

昭和六年十月下旬

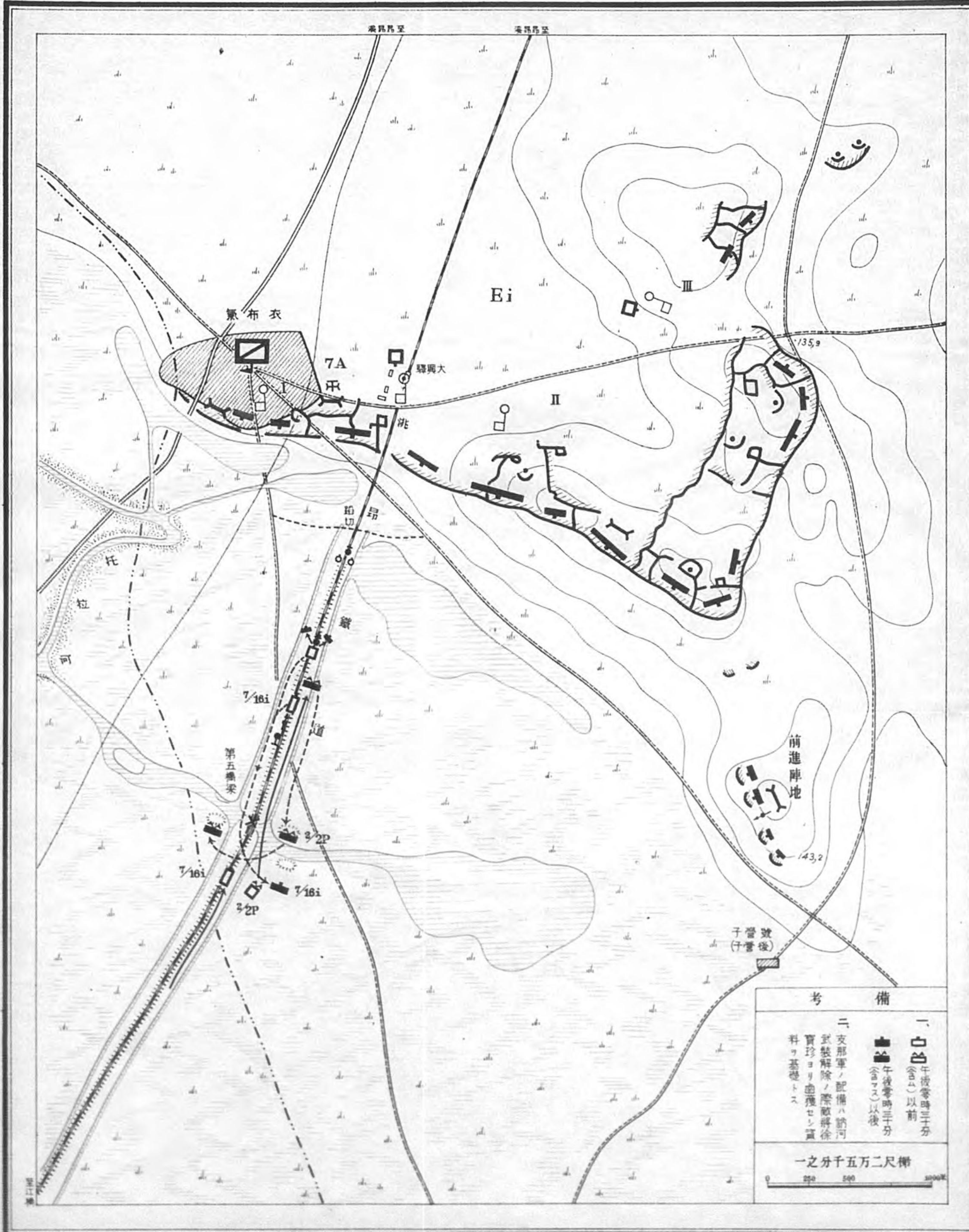


考 備	
一、日本軍	白 獨立守備隊
二、支那軍	■ 獨立守備隊以外部隊
三、支那軍ハ日本軍ニ直接關係アル正統軍	■ 東北邊防軍
四、獨立守備隊守備區域ノ境界	■ 東北邊防軍ヨリ獨立セルモノ

一之分万五十七百三尺繪
0 25 50 100 浬

第五橋梁附近二於ル歩兵第六十聯隊第七中隊戰鬪經過要圖

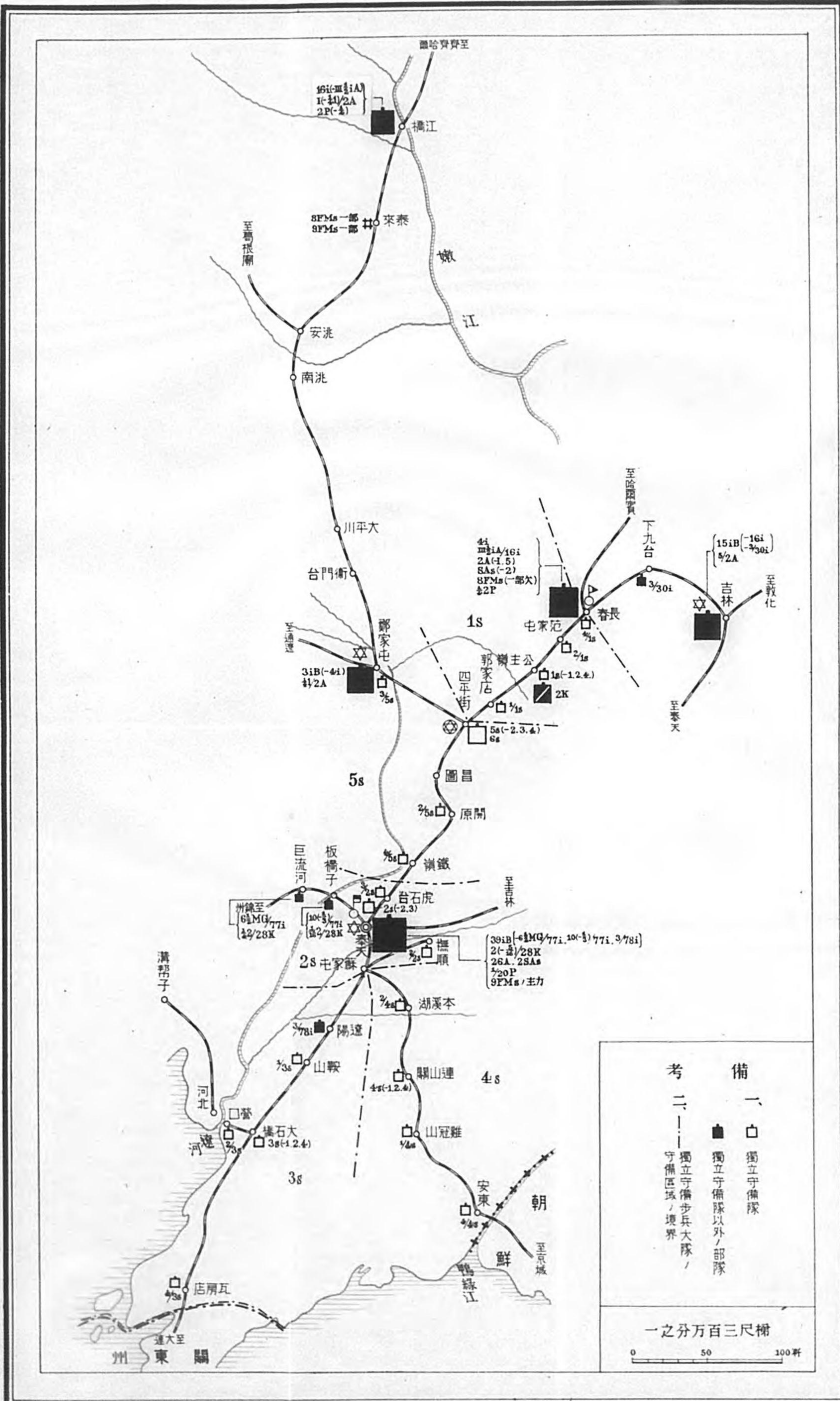
昭和六年十一月四日正午至下午一時三十分頃



考 備	
一、	午後零時三十分 (含ム) 以前
二、	午後零時三十分 (含マス) 以後
三、	支那軍ノ配備ハ沿河 武装解除ノ際敵將徐 寶珍ヨリ曲獲セシ質 料ヲ基礎トス
一之分千五万二尺標	
0 250 500 1000	

關東軍諸隊配置要圖

昭和六年十一月四日午後二時



大興附近ニ於ケル嫩江支隊戰鬥經過要圖三

昭和六年十一月五日午後



考 備

一、午前十一時頃
 午後三時頃
 但野砲兵第二中隊一門八午後十一時三十分到着

二、午後十一時三十分頃

三、増援隊

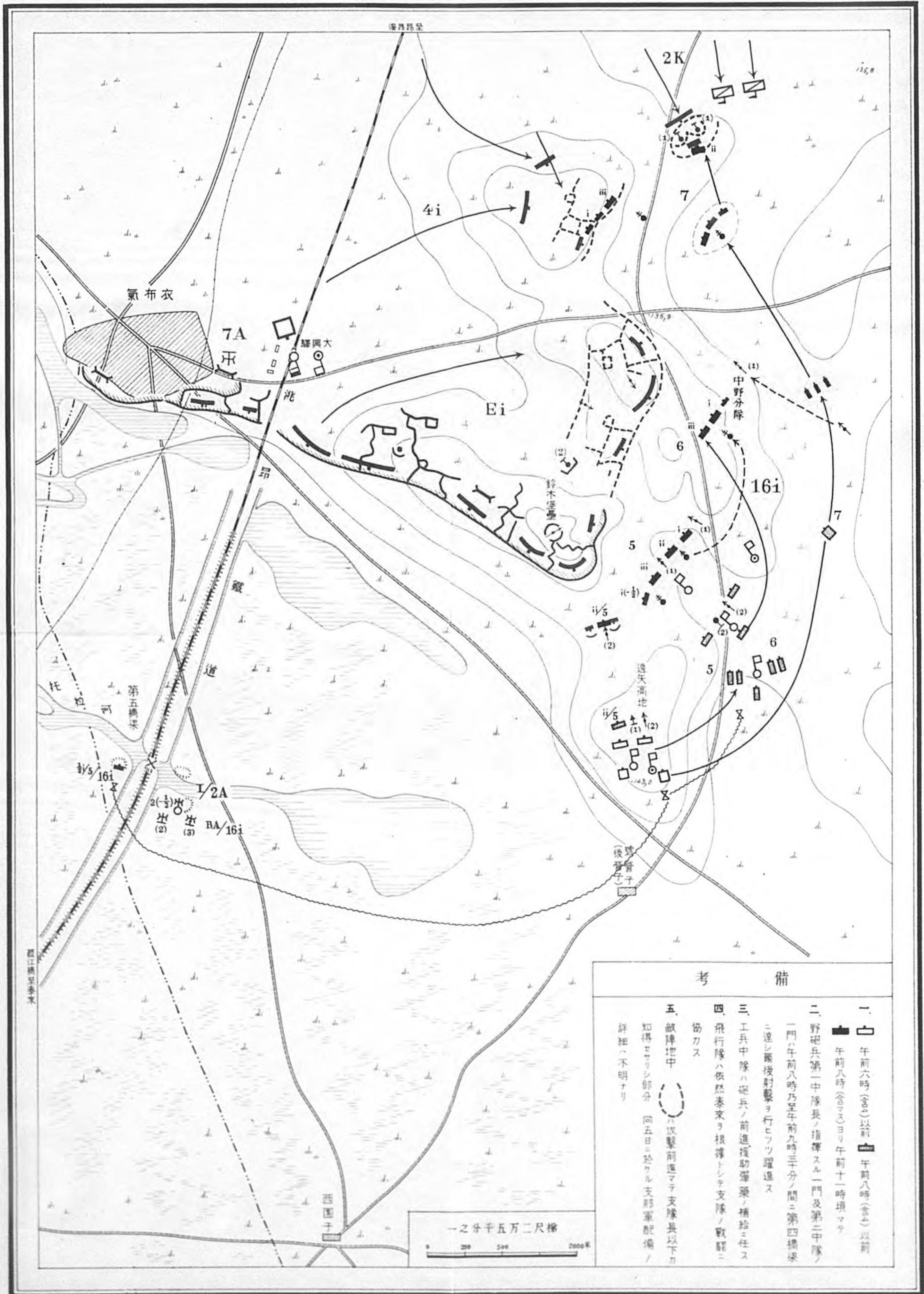
四、工兵中隊飛行隊行動八前日ニ同シ

一之分千五万二分梯

0 250 500 1000 米

大興附近ニ於ケル嫩江支隊戦闘經過要圖其二

昭和六年十一月五日午前



備考

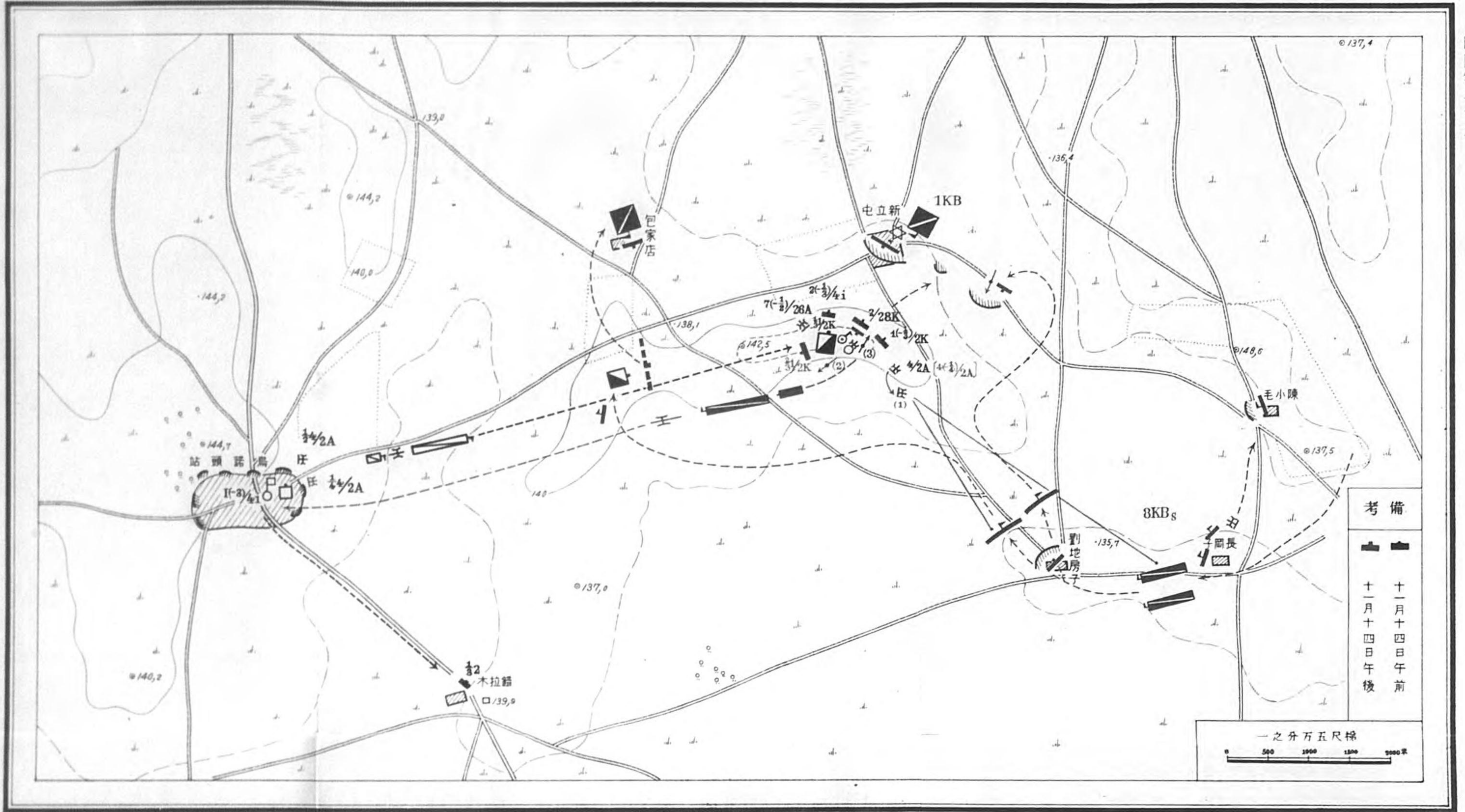
- 一、 午前六時(含)以前 午前八時(含)以前
午前八時(含)より午前十一時頃マテ
- 二、野砲兵第一中隊長ノ指揮スル一門及第二中隊ノ一門ハ午前八時乃至午前九時三分ノ間ニ第四橋梁ニ達シ爾後射撃ヲ行ヒツツ躍進ス
- 三、工兵中隊ハ砲兵ノ前進援助彈藥ノ補給ニ任ス
- 四、飛行隊ハ依然奉命ヲ根據トシテ支隊ノ戰闘ニ協カス
- 五、敵陣地中 ハ攻撃前進マテ支隊長以下カ知得セザリシ部分 向五日ニ於ケル支隊軍配備ノ詳細ハ不明ナリ

一之分千五万二尺梯
0 200 500 2000尺

新立屯附近二於若松騎兵隊戰經過要圖

昭和六年十一月十四日

附圖第二十二



考備

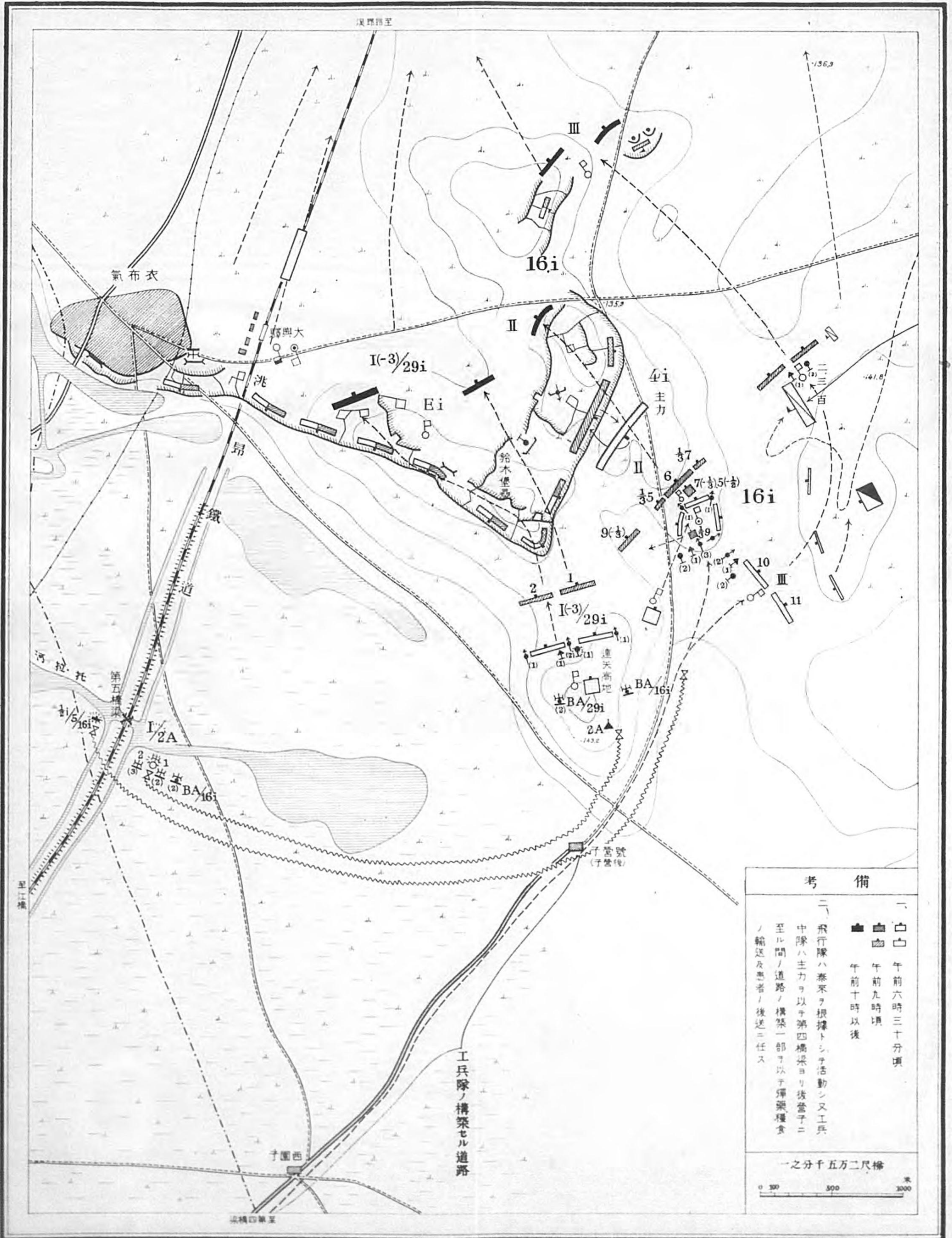
十一月十四日午後
十一月十四日午前

一之分五尺



大興附近ニ於ケル嫩江支隊戦闘經過要圖其四

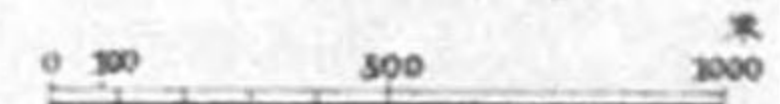
昭和六年十一月六日午前



考 備

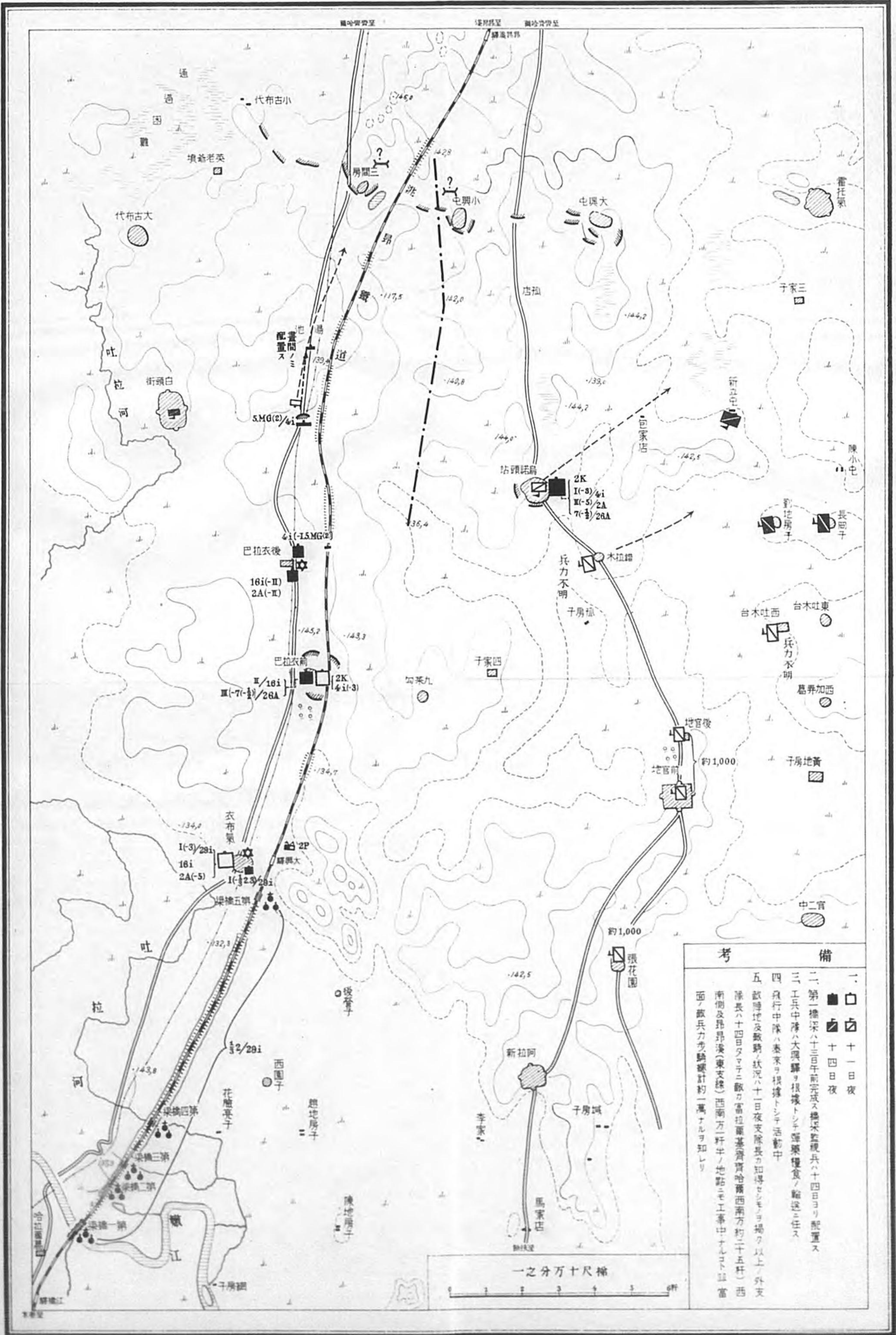
- 午前六時三十分頃
 - ◐ 午前九時頃
 - ◑ 午前十時以後
- 二、飛行隊ハ泰来ヲ根據トシテ活動シ又工兵中隊ハ主力ヲ以テ第四橋梁ヨリ後營子ニ至ル間ノ道路ノ構築一部ヲ以テ彈藥糧食ノ輸送及患者ノ後送ニ任ス

一之分千五方二尺楯



工兵隊ノ構築セル道路

十一月十一日及十四日於嫩江支隊之態勢及當面敵情要圖

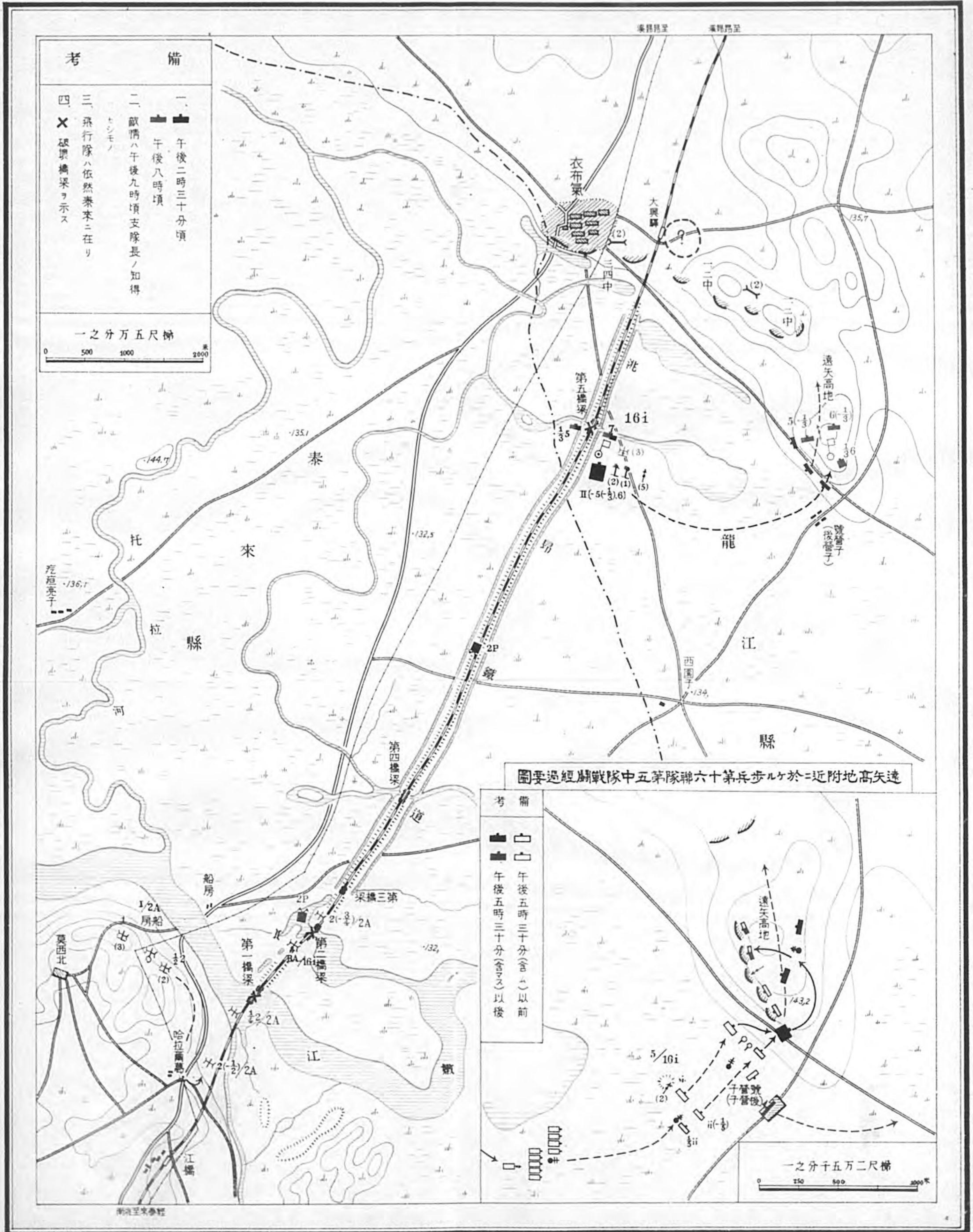


考 備

- 一、□ 十一日夜
- 二、■ 十四日夜
- 三、第一機深八十三日前完成入機採監視兵八十四日ヨリ配置ス
- 四、工兵中隊ハ大隈驛ヲ根據トシテ彈藥糧食ノ輸送ニ任ス
- 五、飛行中隊ハ泰來ヲ根據トシテ活動中
- 六、敵陣地及敵動ノ状況ハ十一日夜支隊長カ知得セシモ、場々以上ノ外支隊長ハ十四日夕ニ敵カ富拉蘇基齊齊哈爾西南方約二十五軒ノ西南側及昂昂溪(東支隊)西南方一軒半ノ地點モ工事中心ナルト認當面ノ敵兵力及動向計約一萬ナルヲ知レリ

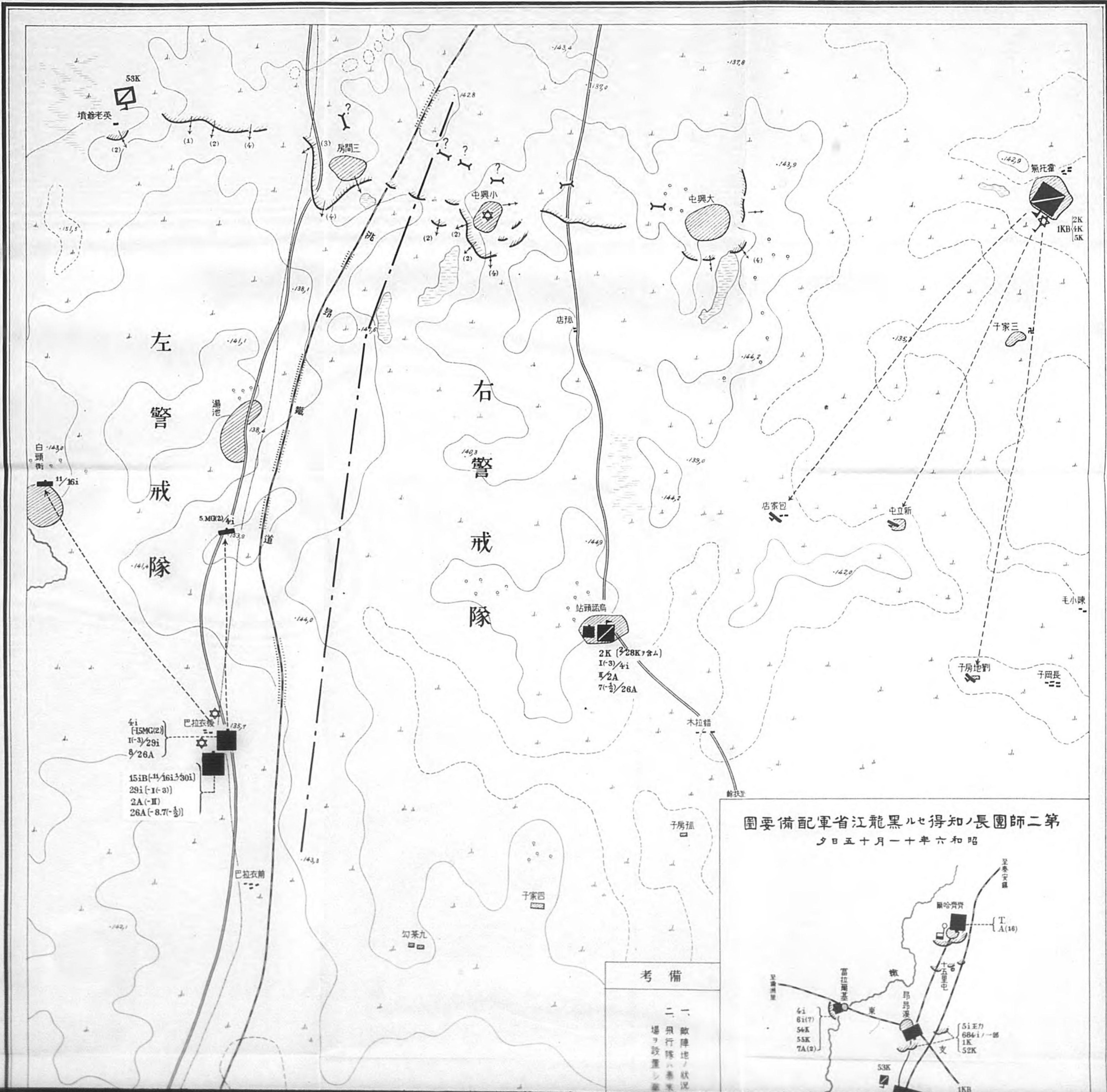
大興附近二於嫩江支隊戰鬥經過要圖一

昭和六年十一月四日午後

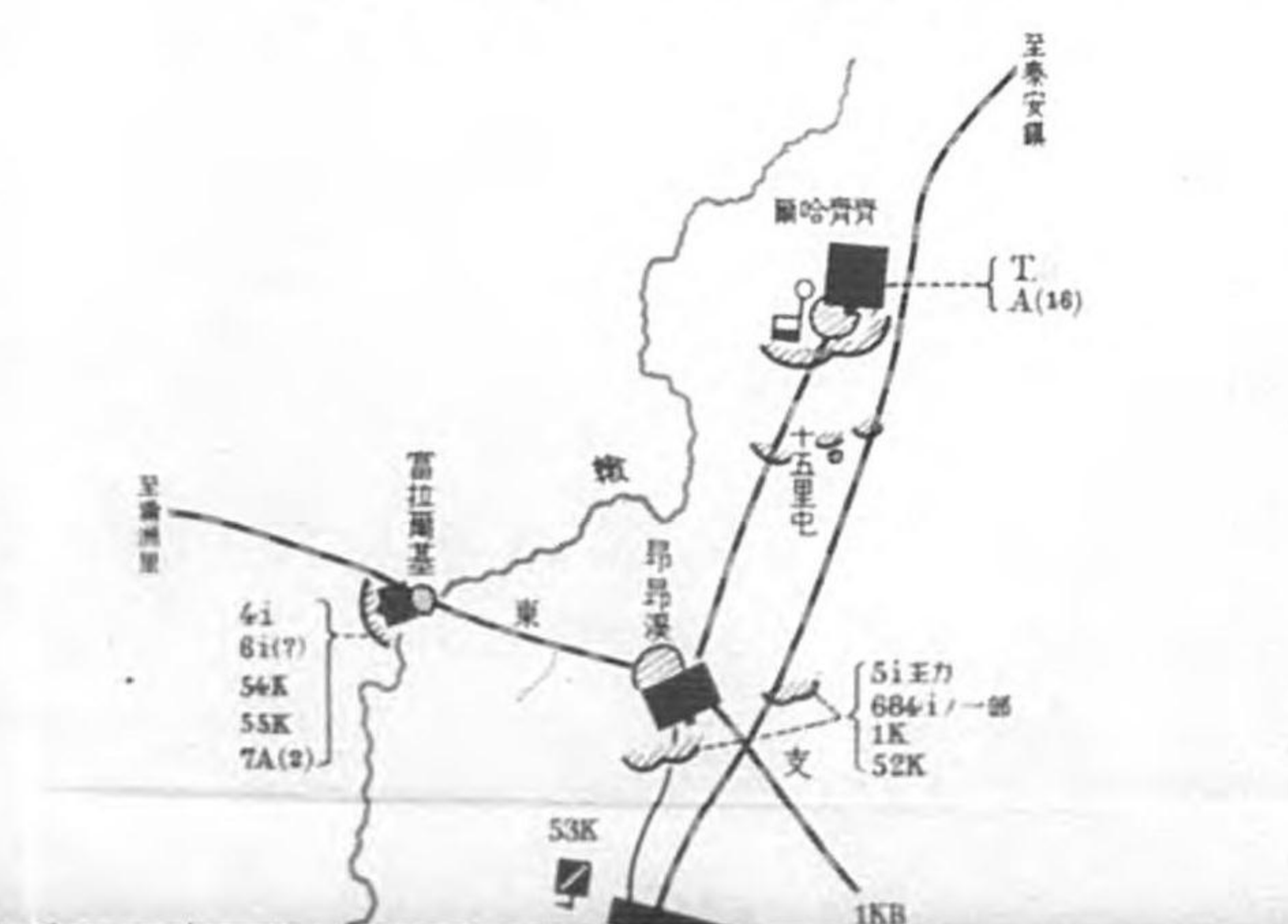


昂昂溪附近之戰鬥前二師團之態勢要圖

昭和六年十一月十五日

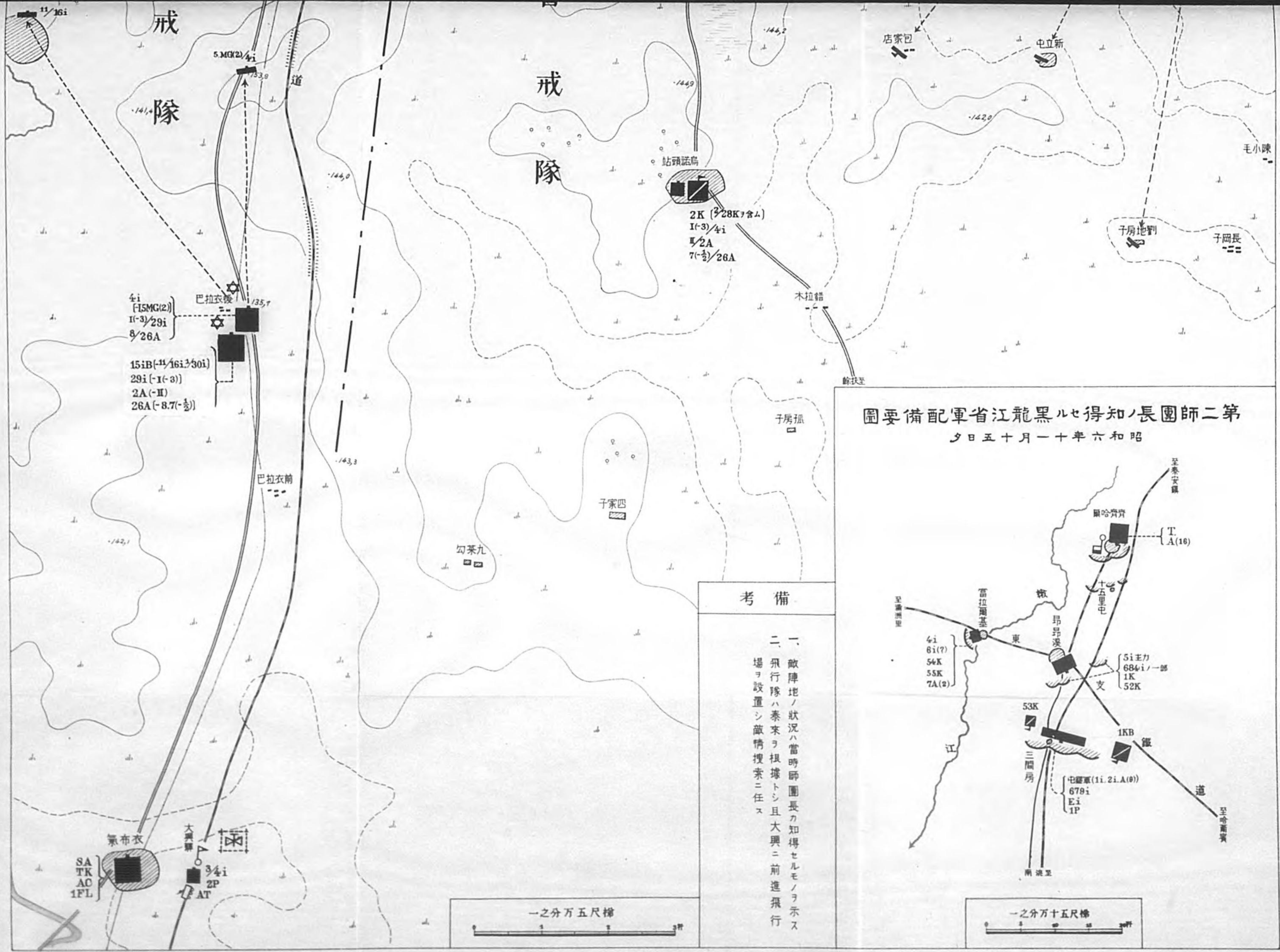


第二師團長之得知黑龍江省軍配要圖
昭和六年十一月十五日



考備

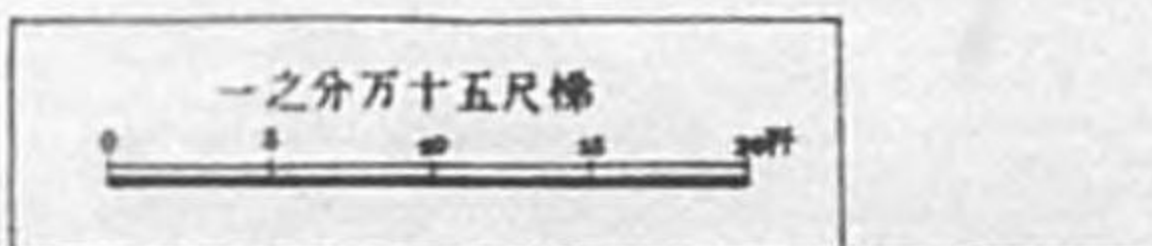
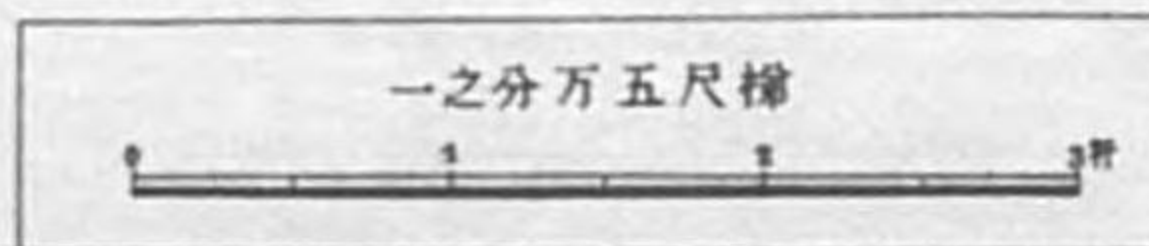
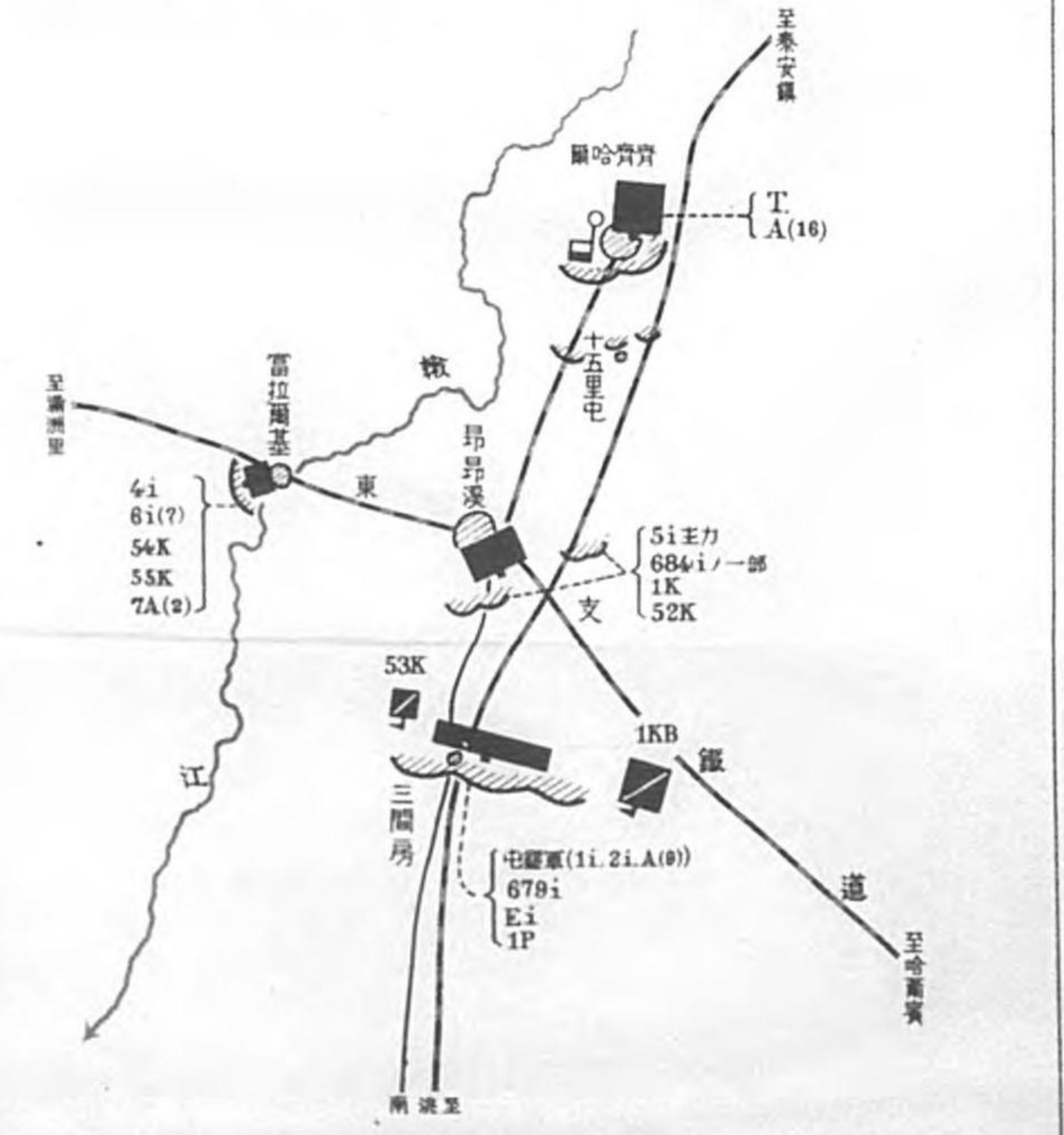
一、敵陣地ノ狀況
二、飛行機ノ配置
三、砲隊ノ配置



圖要備配軍省江龍黑ル得知ノ長團師二第
 夕日五十月一十年六和昭

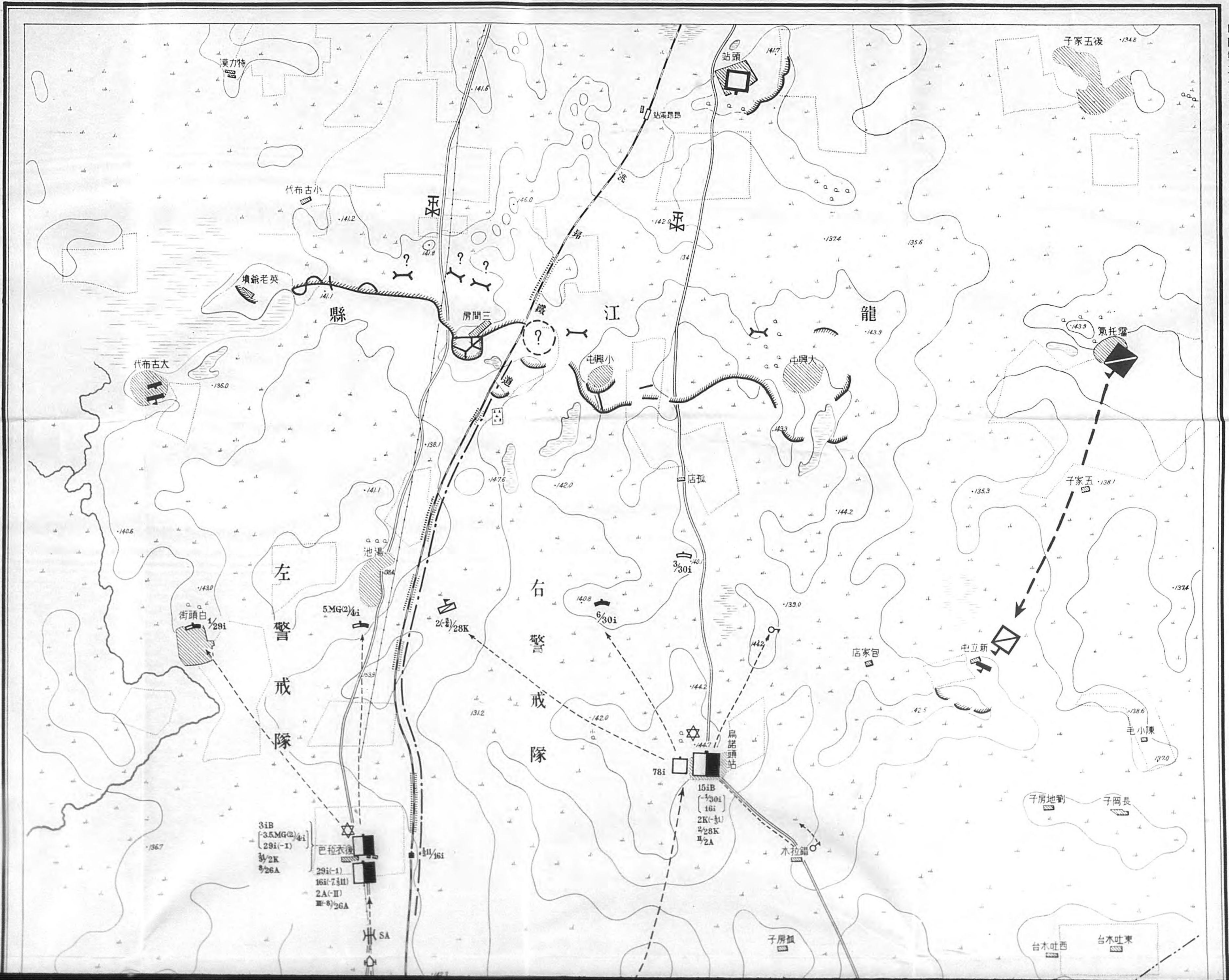
考 備

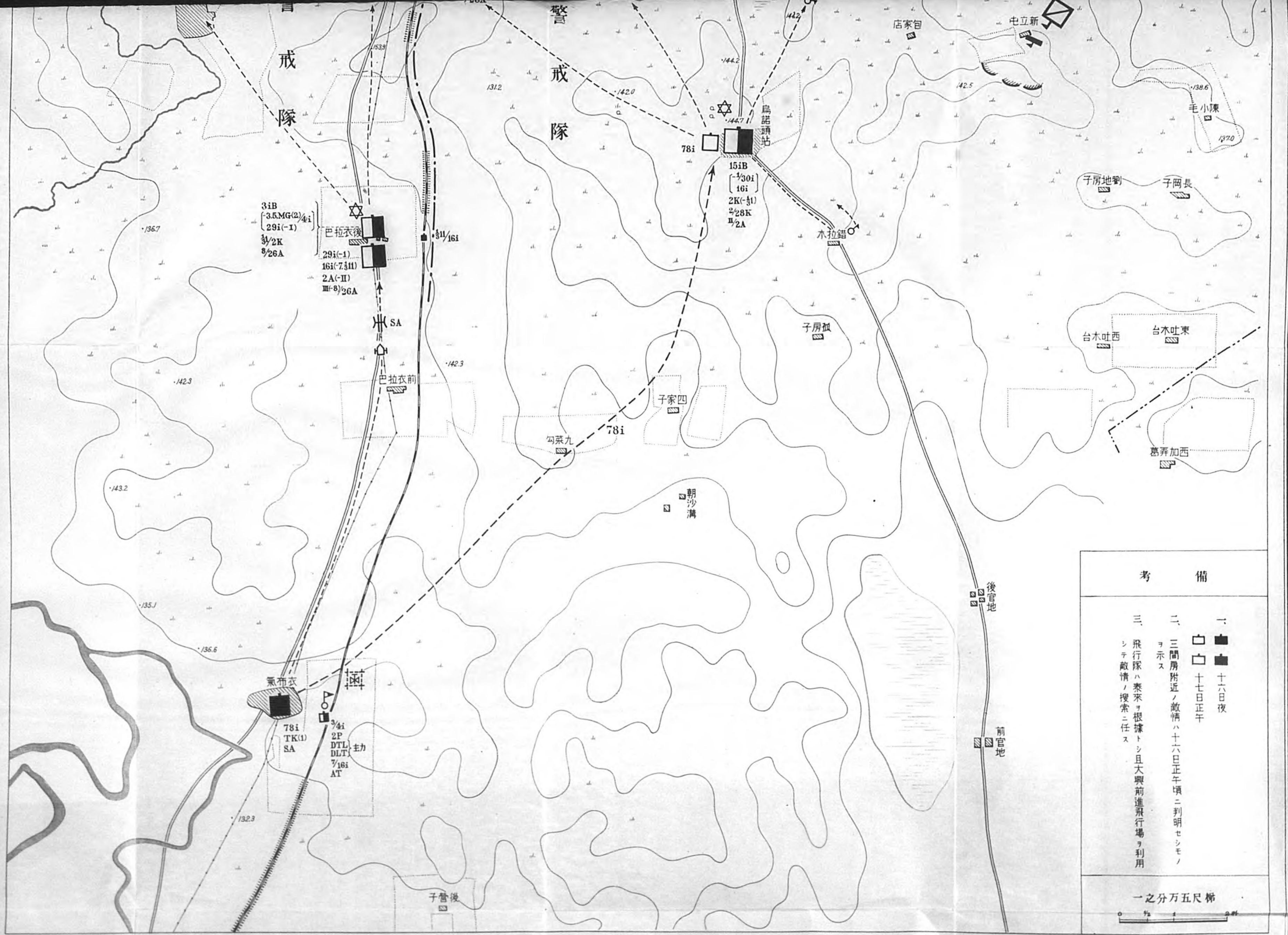
- 一、敵陣地ノ狀況ハ當時師團長ノ知得セルモノヲ示ス
- 二、飛行隊ハ泰來ヲ根據トシ且大興ニ前進飛行場ヲ設置シ敵情搜索ニ任ス



二其圖要勢態ノ團師二第ルケ於ニ前闘戰ノ近附溪昂昂

ル至ニ午正日七十月ヨ夜日六十月一十年六和昭

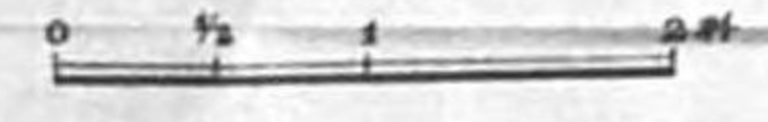




考 備

- 一、 十六日夜
- 二、 十七日正午
- 三、飛行隊ハ泰來ヲ根據トシ且大興前進飛行場ヲ利用シテ敵情ノ搜索ニ任ス

一之分万五尺梯



錄扶至

圖要過經戰團師二第ル於二戰、近附溪昂昂

日八十月一十年六和昭

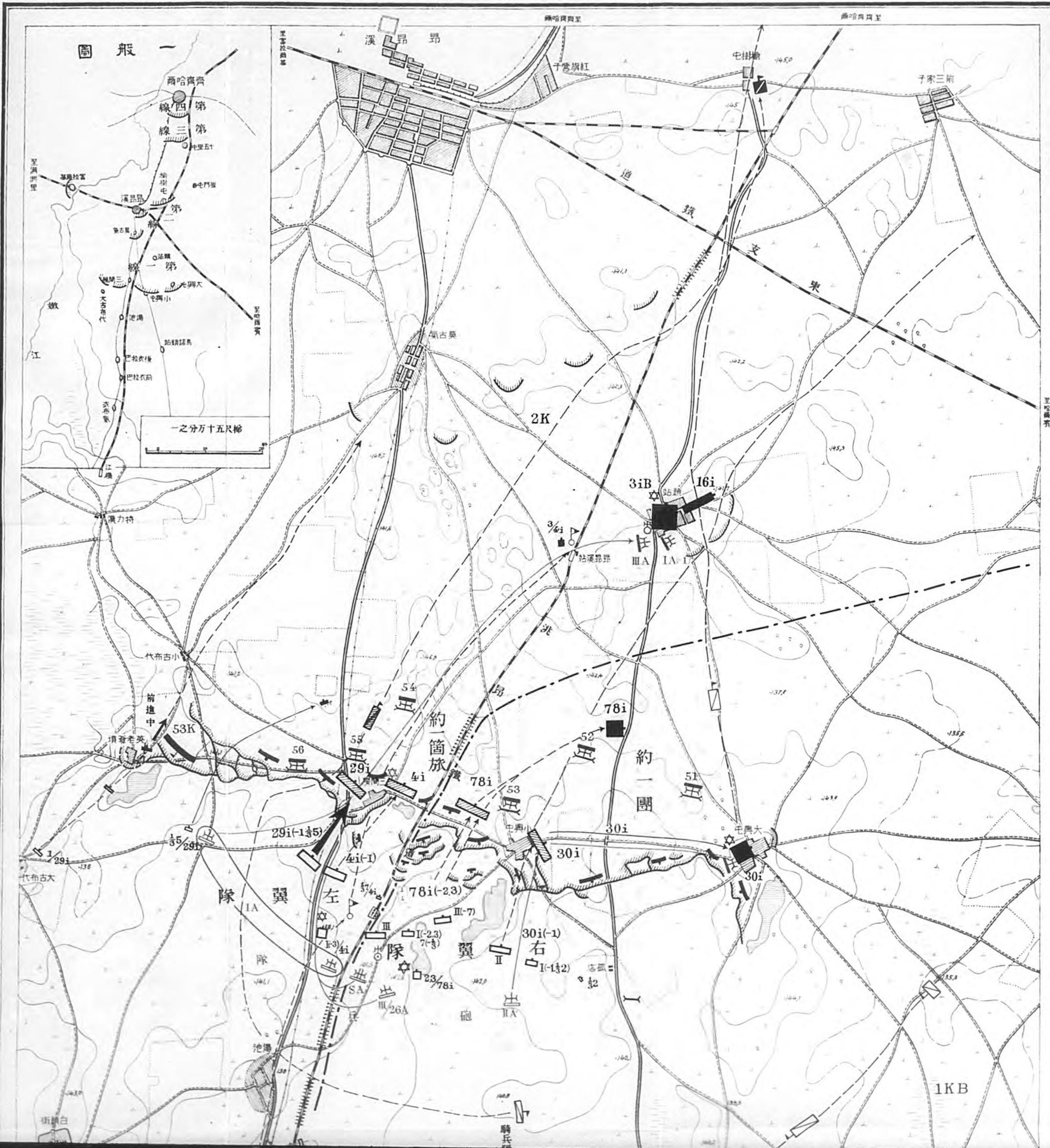


圖 般

一之分方十五尺縮

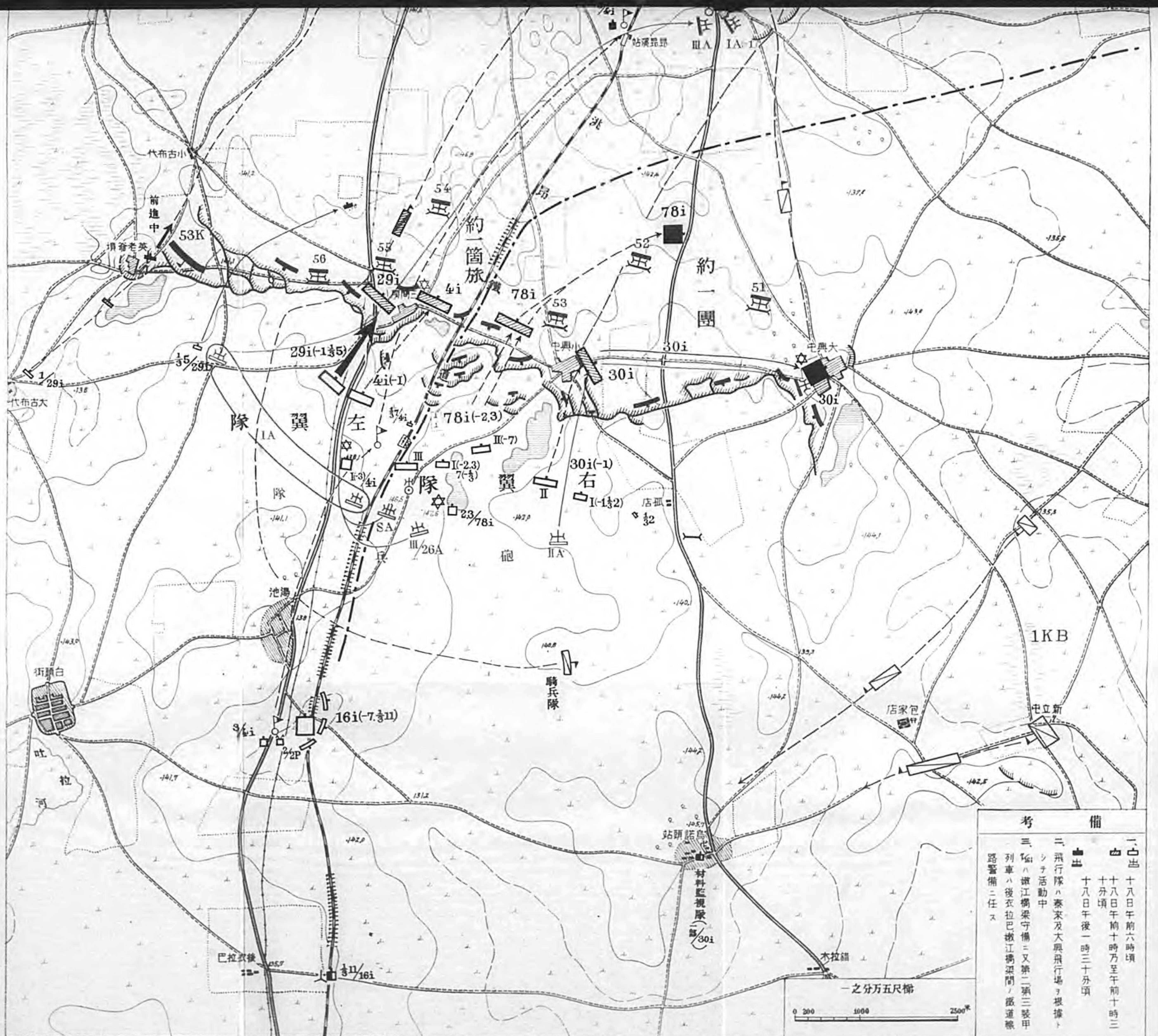
約一團

約一團

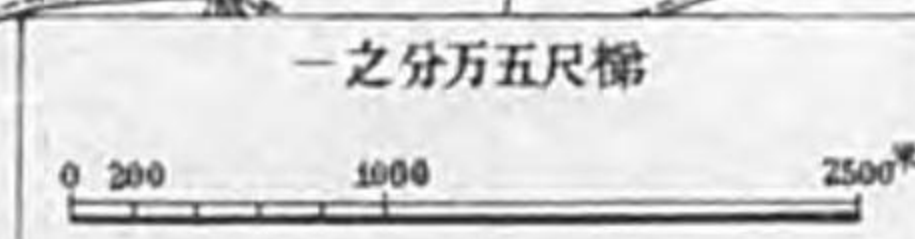
隊 IA 翼 左

隊 IA 翼 右

1KB



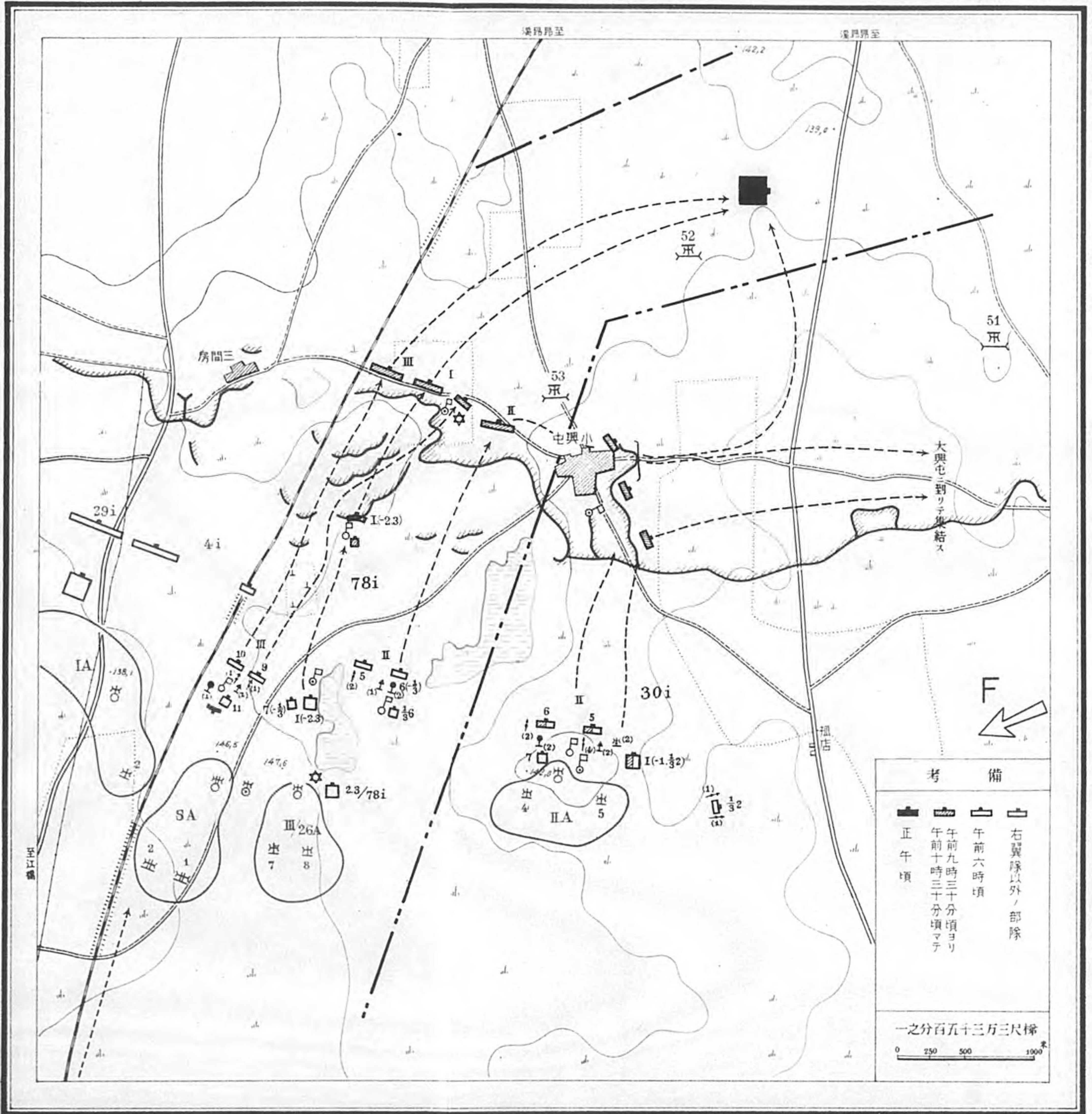
考 備	
一、出	十八日午前六時頃
二、出	十八日午前十時乃至午前十三時三十分頃
三、出	十八日午後一時三十分頃
四、出	シテ活動中
五、出	飛行隊ハ泰來及大興飛行場ヲ根據トシテ活動中
六、出	三、 $78i$ ハ嫩江橋梁守備ニ又第二第三裝甲列車ハ後衣拉巴嫩江橋梁間ノ鐵道線路警備ニ任ス



東勝至 嫩江至 東勝至

昂昂溪附近之戰鬥二於右翼隊戰鬥經過要圖

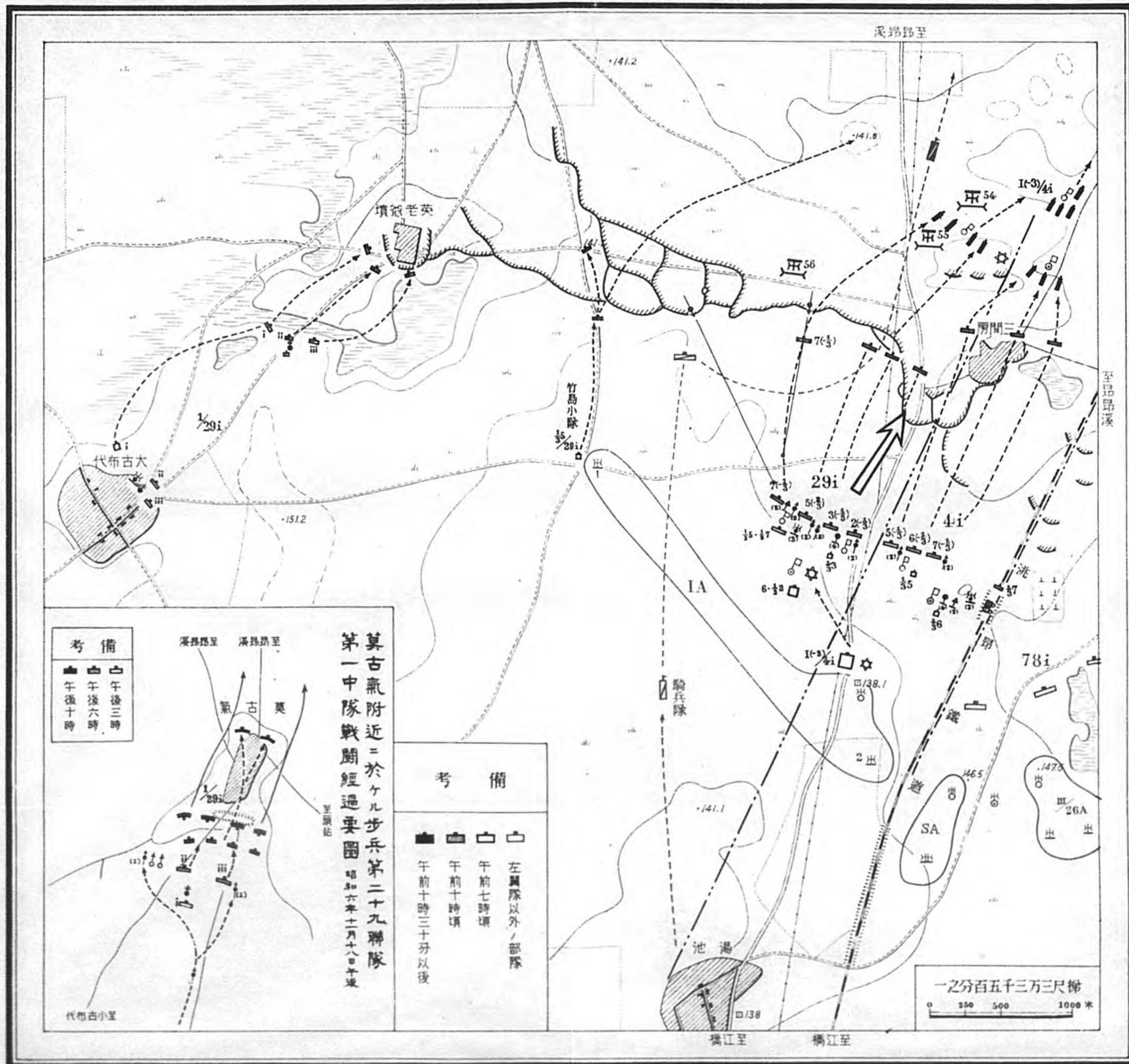
昭和六年十一月十八日



昂昂溪附近之戰鬥於左翼隊翼戰經過要圖

昭和六年十一月十八日午前

附圖第二十九



考 備	
■	午後十時
□	午後六時
○	午後三時



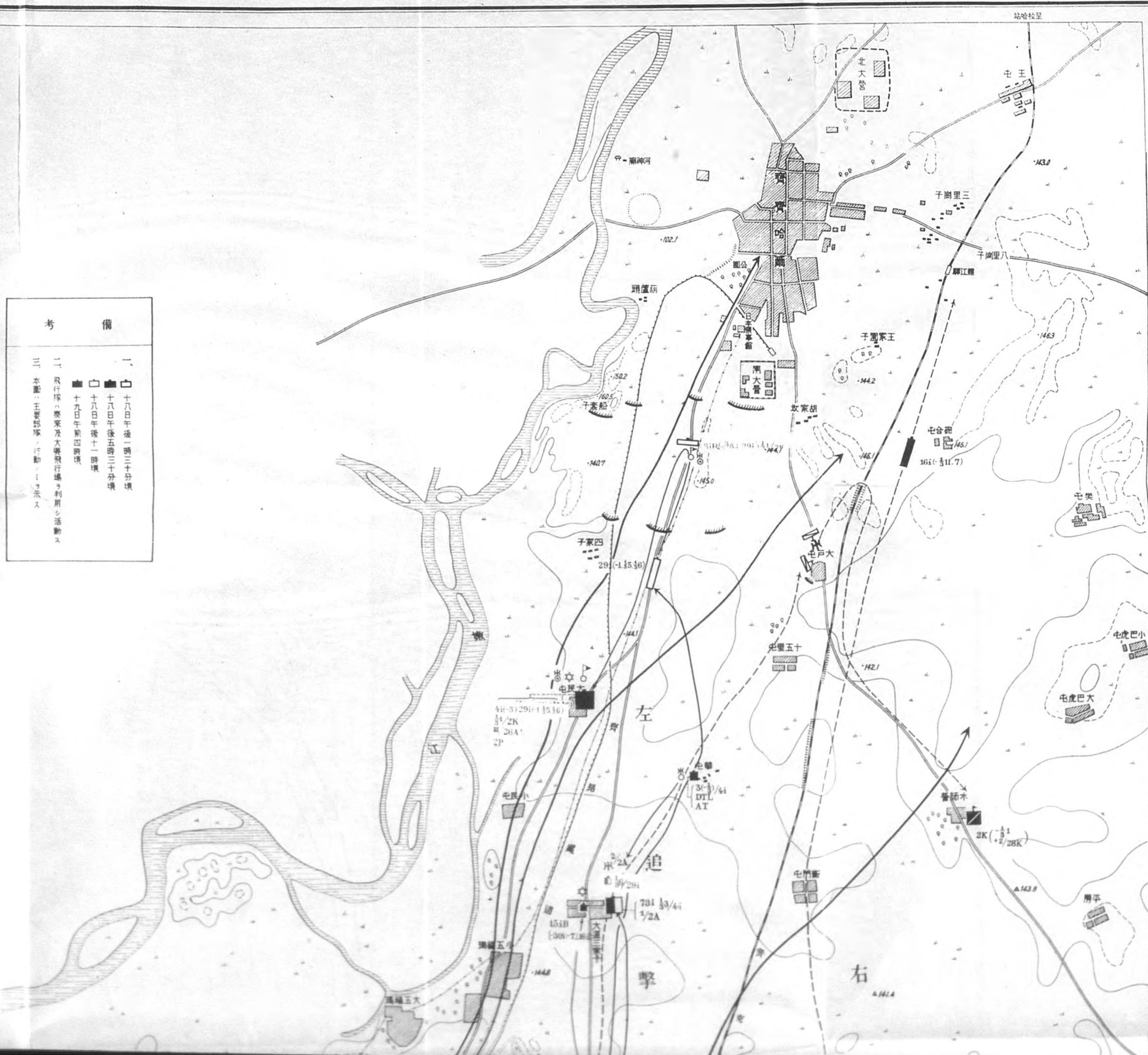
莫古氣附近之於ヶ儿步兵第二十九聯隊
第一中隊戰鬥經過要圖
昭和六年十一月十八日午前

考 備	
■	午前十時三十分以後
□	午前十時頃
○	午前七時頃
○	左翼隊以外ノ部隊

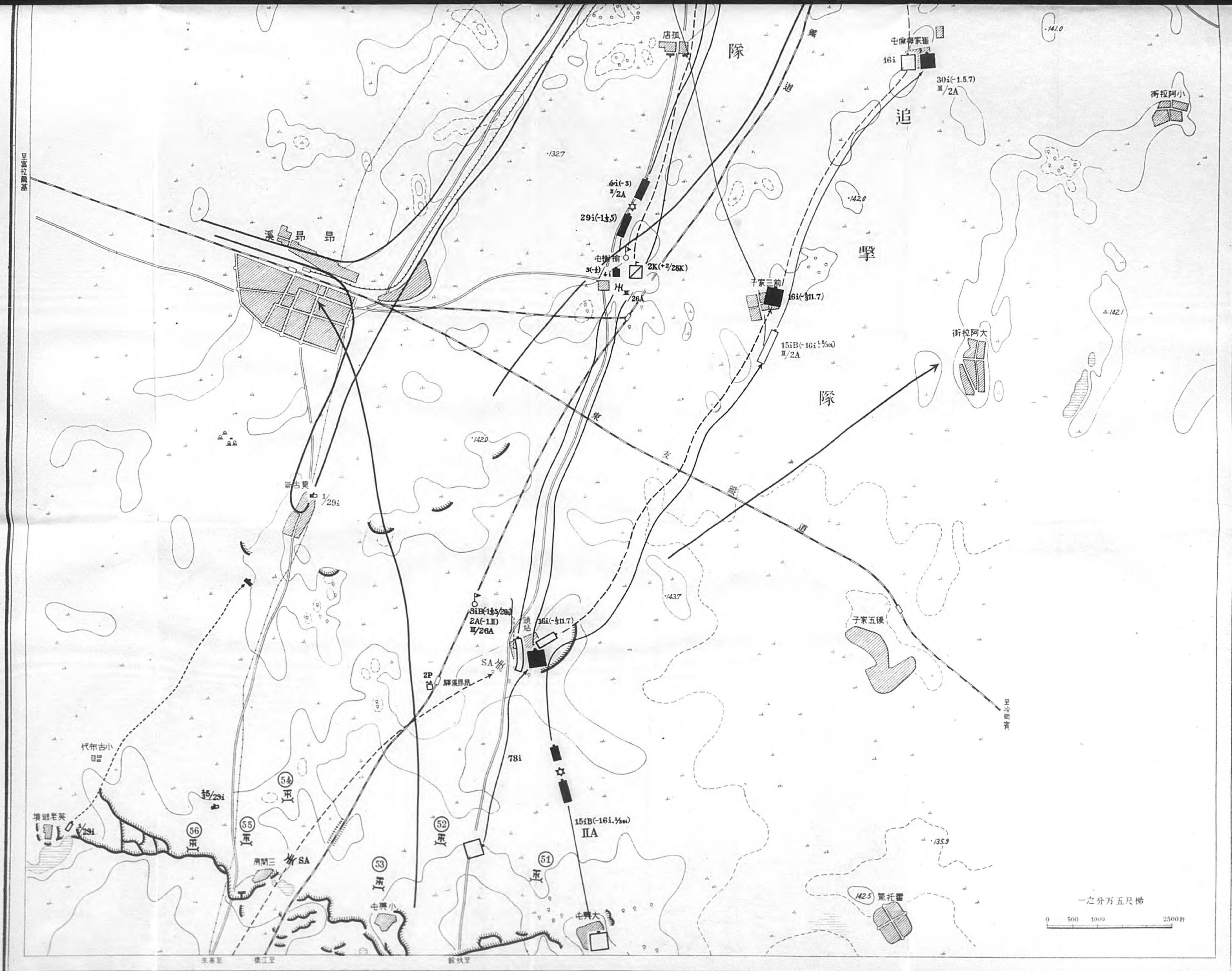
一之分百五千三万三尺梯
0 250 500 1000 米

齊齊爾附近第二師追擊經過要圖

昭和六年十一月十八日



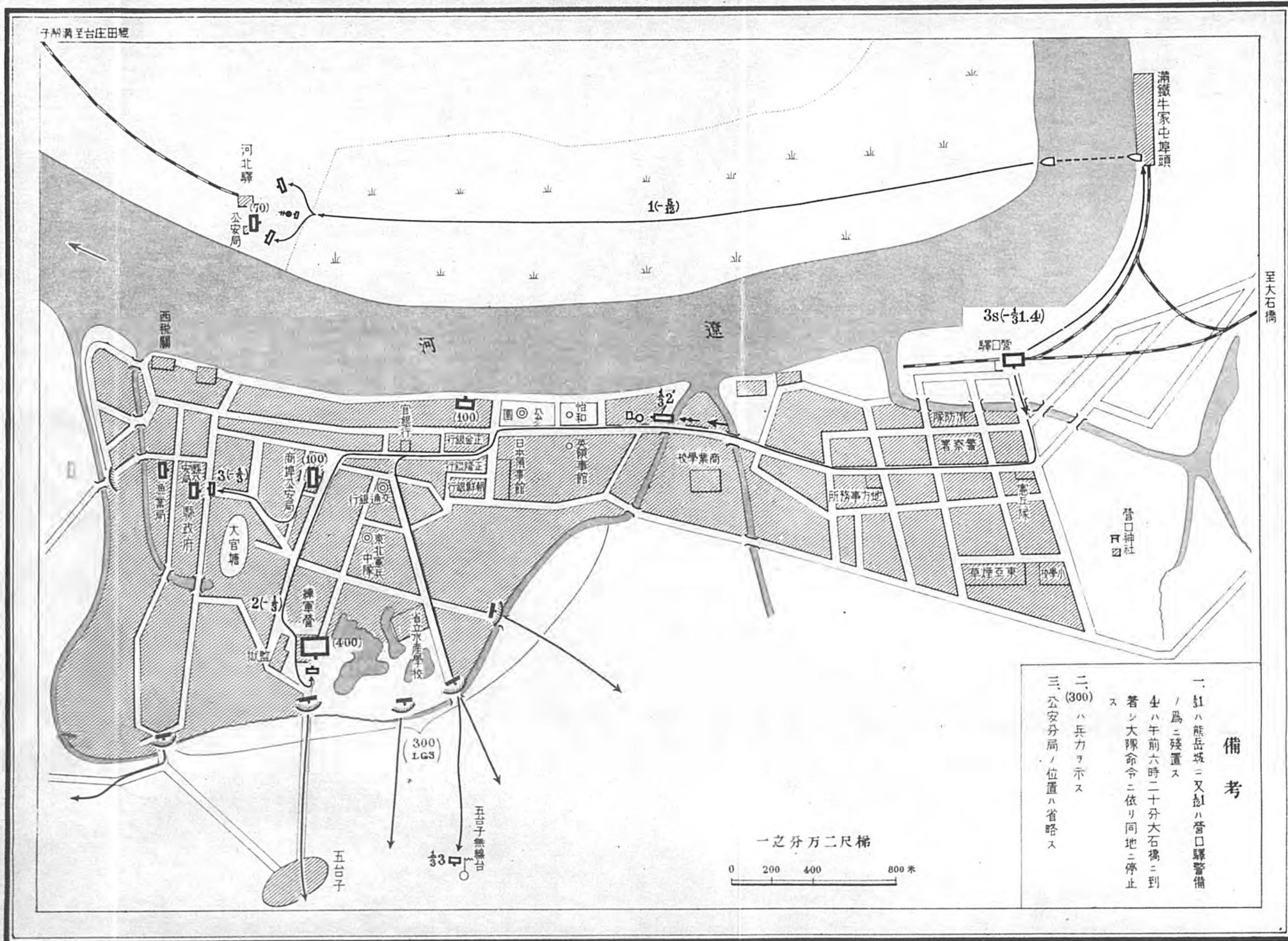
考 備	
一、	十八日午後一時三十分頃
二、	十八日午後五時三十分頃
三、	十八日午後十一時頃
四、	十九日午前四時頃
五、	飛行隊ハ察察及大興飛行場ヲ利用シ活動ス
六、	本圖ハ主要部隊ノ行動ノミヲ示ス



一之分万五尺梯
 0 500 1000 2500 尺

營口附近於獨立守備步兵第三大隊武裝解除經過要圖

昭和六年九月十九日午前






備考

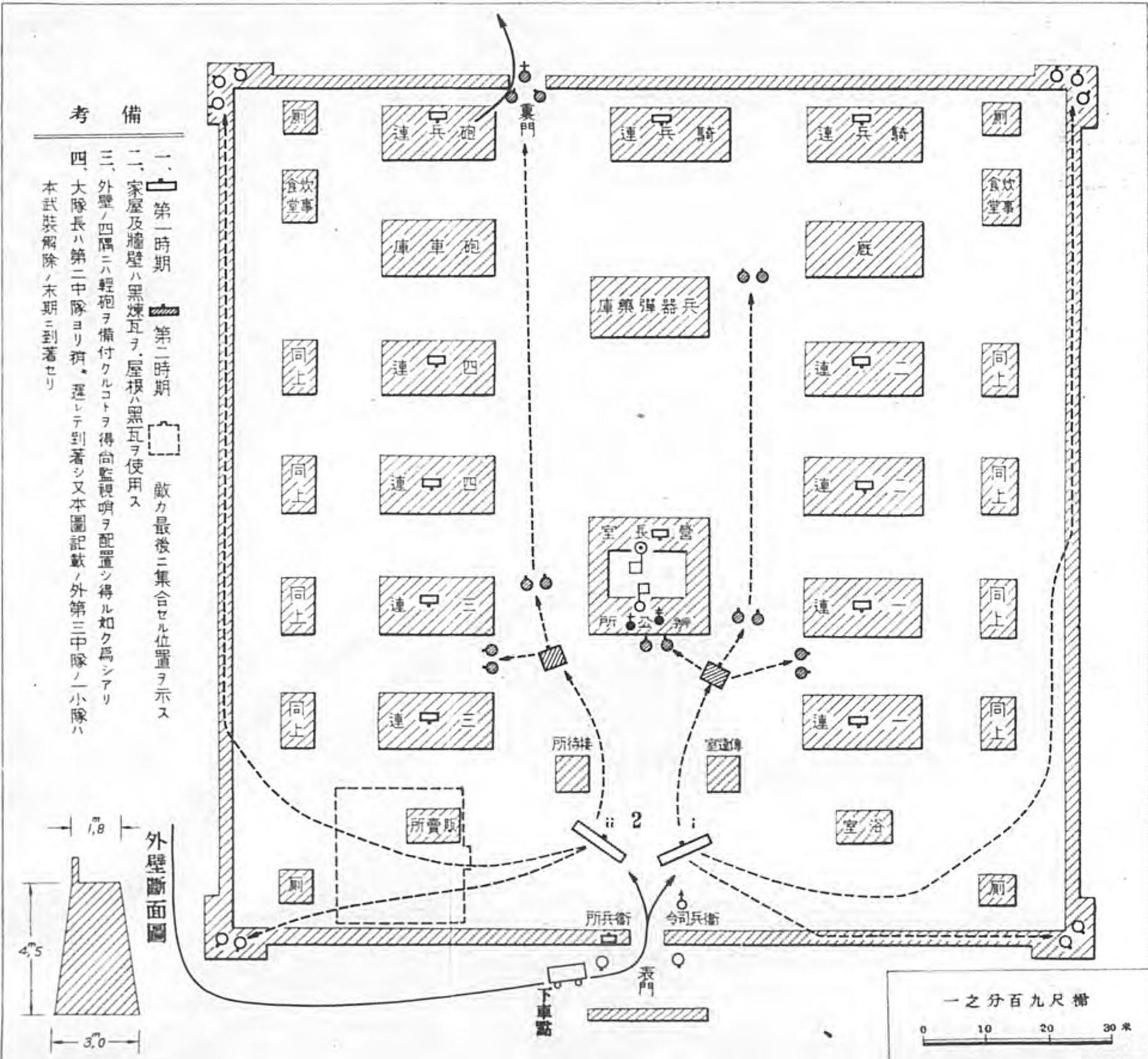
- 一、紅熊岳城ニ又紅營口驛警備ノ爲ニ殘置ス
- 二、八午前六時二十分大石橋ニ到着シ大隊命令ニ依リ同地ニ停止ス
- 三、ハ兵力ヲ示ス
- 四、公安分局ノ位置ハ省略ス

一之分万二尺梯
0 200 400 800 米

練軍營於此獨立守備步兵第三大隊主力之裝解除經過要圖

昭和六年九月十九日

- 考 備
- 一、 第一時期
 - 二、 第二時期
 - 三、 敵力最後ニ集合セル位置ヲ示ス
- 一、 家屋及牆壁ハ黑煉瓦ヲ、屋根ハ黑瓦ヲ使用ス
- 二、 外壁ノ四隅ニハ輕砲ヲ備付クルコトヲ得尙監視哨ヲ配置シ得ル如ク爲シアリ
- 三、 大隊長ハ第二中隊ヨリ、選レテ到着シ又本圖記載ノ外第三中隊ノ一小隊ハ本武裝解除ノ末期ニ到着セリ

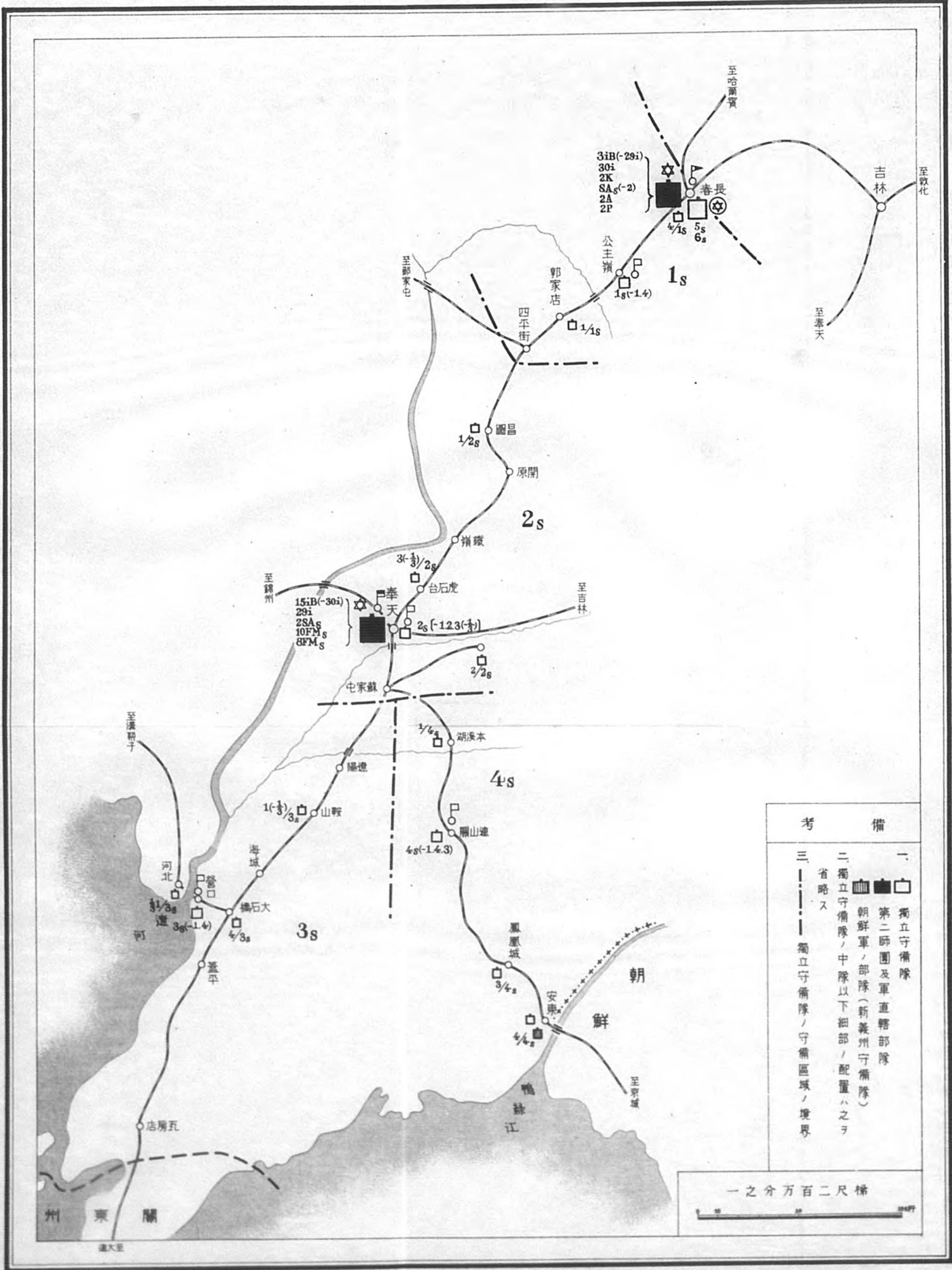


一之分百九尺楯

0 10 20 30 米

關東軍諸隊配置要圖

昭和六年九月二十日夜



考 備	
一、	獨立守備隊
二、	第二師團及軍直轄部隊 朝鮮軍/部隊(新義州守備隊)
三、	獨立守備隊/中隊以下細部/配置ハ之ヲ 省略ス
— — —	獨立守備隊/守備區域/境界

一之分万百二尺標

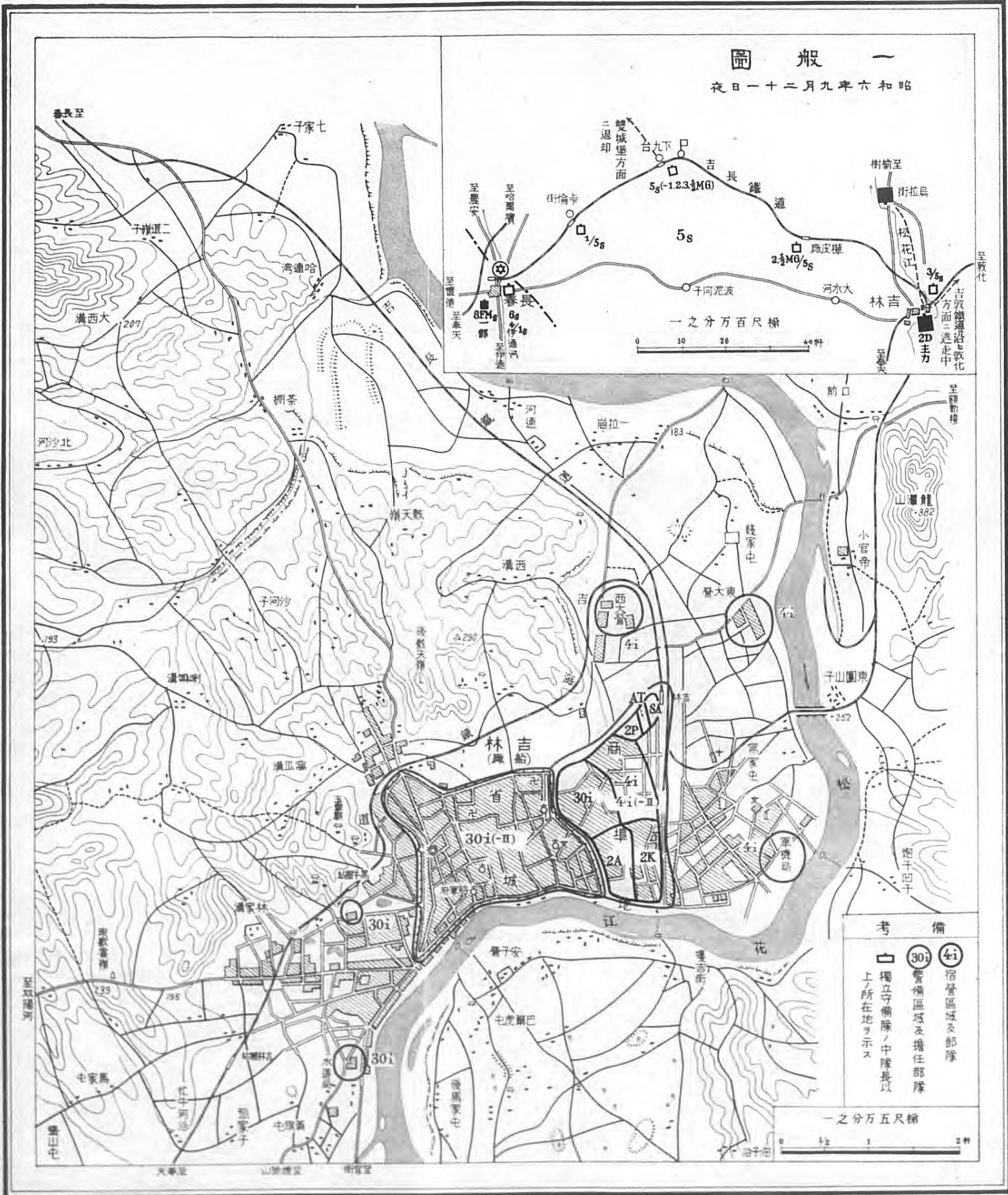


圖要勢態團師二第ル於ニ近附林吉

夜日一十二月九年六和昭

圖般一

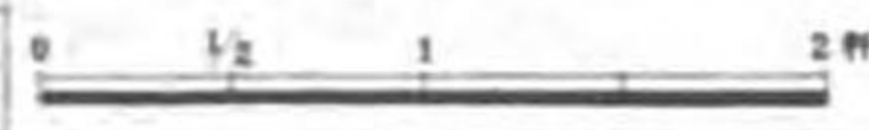
夜日一十二月九年六和昭



考備

- ④i 宿營區域及部隊
- ③0i 警備區域及擔任部隊
- 獨立守備隊ノ中隊長以上ノ所在地ヲ示ス

一之分万五尺楯



一之分万五尺楯

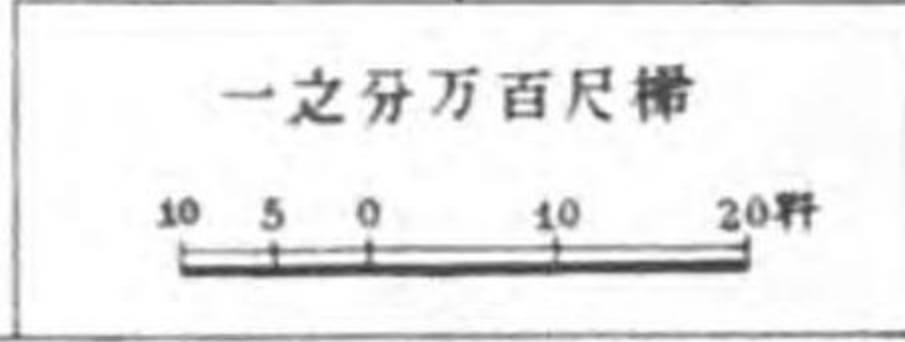


吉林南地方於其彼此態勢要圖

昭和六年十一月十三日

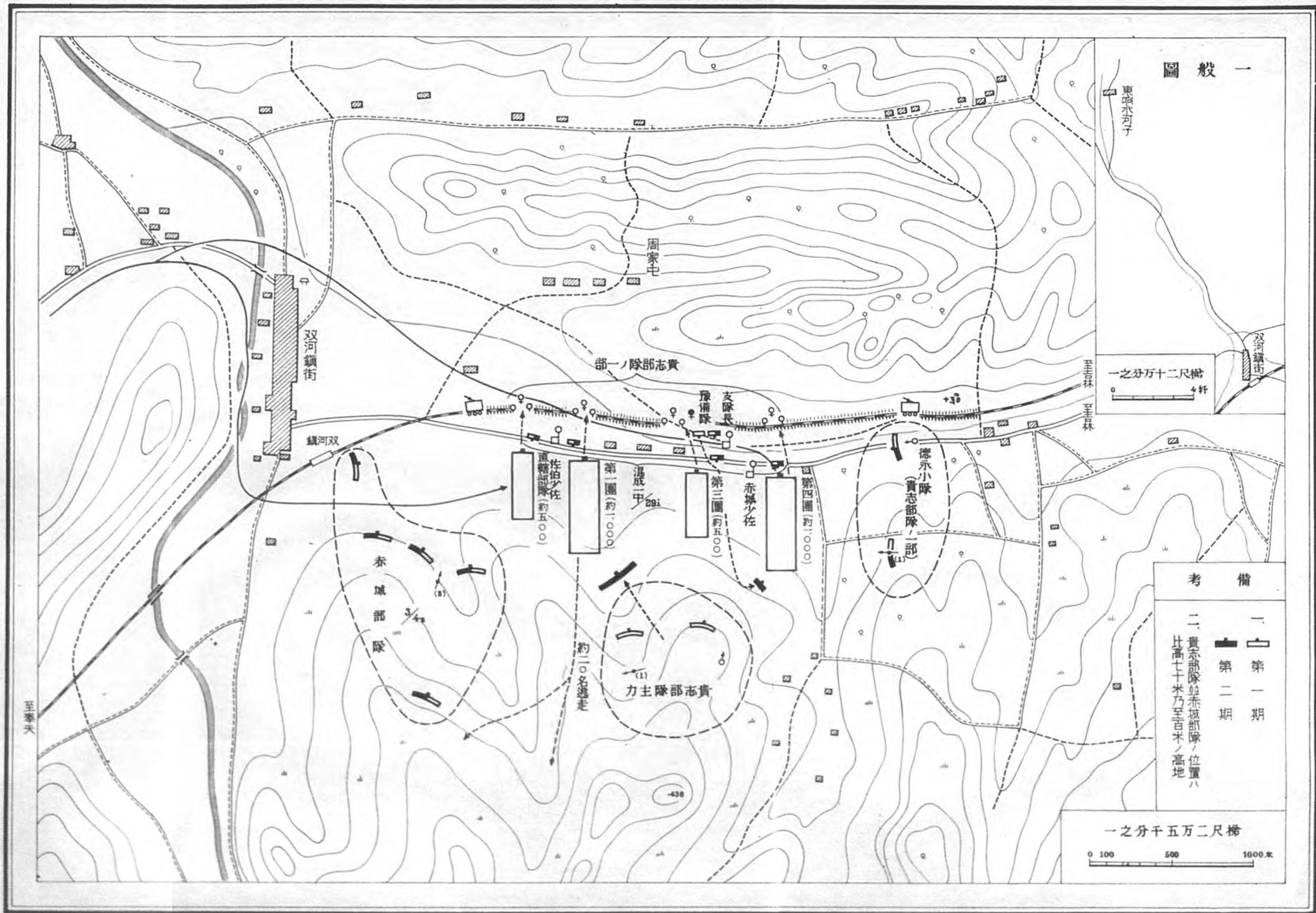


考 備	
一	白 獨立守備隊
二	■ 獨立守備隊以外 / 部隊
○	○ 歸順 / 意ヲル匪賊
○	○ 歸順 / 意ナキ匪賊



雙河鎮附近於天谷支隊武裝解除經過要圖

昭和六年十二月二日



INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 2554-2567, inclusive

9 August 1946

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Collected volumes entitled "History of MANCHURIAN Incident", compiled by Army General Staff for "Japanese officers only".

Date: (see below) Original Copy Language: Japanese

Has it been translated? Yes No

Has it been photostated? Yes No

LOCATION OF ORIGINAL

Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: Army Ministry

PERSONS IMPLICATED: KWANTUNG Army

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Military Operations and Aggression in MANCHURIA and China

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

These documents are apparently part of a set and with appended maps deal with such phases of MANCHURIAN Incident as: A review of the situation prior to outbreak of the Incident, banditry and subjugation of bandits, general studies of geography, terrain, climate, etc., movements of KWANTUNG Army, military operations, progress of course of operations, air forces activities, function of railways, cooperation between Army and Navy, and similar related topics. A table of contents is included in the scanning sheets of each volume. Documents possessed are itemized as follows:

Doc. No. 2554. Vol. 2 (B), 20 Mar 38. Outline of Progress of Operations in MANCHURIAN Incident.

Doc. No. 2555. Vol. 8, 20 Dec 33. Military Operations To Make a Clean Sweep of Chinese Army from MANCHURIA.

Doc. Nos. 2554 - 2567, incl
Page 1

- Doc. Nos. 2554 - 2567, incl - Page 2 - SUMMARY Cont'd
- Doc. No. 2556. Vol. 11 (A), 20 Dec 34. Subjugating Military Operations of Bandits in MANCHURIAN Incident.
- Doc. No. 2557. Vol. 13, 29 Feb 40. Strategy in JEHOL, Operations Around the Great Wall.
- Doc. No. 2558. Vol. 14, 29 Feb 40. Operations in JEHOL, Operations Around the Great Wall.
- Doc. No. 2559. Vol. 15, 30 Nov 40. JEHOL Strategy and Operations Within the Great Wall.
- Doc. No. 2560. Vol. 16, 30 Mar 35. Military Operations in Neighborhood of SHANGHAI, Attacking Enemy Positions and Pursuits.
- Doc. No. 2561. Vol. 18, 29 Feb 40. Army Operations by Railway in the MANCHURIAN Incident.
- Doc. No. 2562. Vol. 19, 31 Mar 34. Activities of Air Corps in the MANCHURIAN Incident.

In addition to the above, there are several volumes of maps showing operational movements, etc. These are meant to supplement various volumes itemized above. The dates of publication are not given and they are listed for convenience sake in the following manner:

- Doc. No. 2563. Supplementary maps for Vol. 1.
- Doc. No. 2564. Supplementary maps for Vol. 2.
- Doc. No. 2565. Supplementary maps for Vol. 8.
- Doc. No. 2566. Supplementary maps for Vol. 11.
- Doc. No. 2567. Supplementary maps for Vol. 16. (2 different sets or folders)

A.N. 2553 is Vol. I of this series.

Analyst: 2d Lt Blumhagen

Doc. Nos. 2554-2567, incl
Page 2